

【基礎から実践まで】

米国株オプション取引 デビューガイド



CONTENTS

はじめに知っておきたい、米国株とオプション取引の基本	1
----------------------------------	---

米国株オプション取引の準備

米国株オプション口座の開設	3
口座への入金方法	4
通貨を両替する方法	5
オプション口座に資金を振替える方法	5
Webull アプリのデモ取引	6

米国株オプション取引の流れを理解しよう

オプションチェーンは取引できるオプションのカタログ	7
オプション取引の 4 ステップ	8
実際にオプション取引をやってみよう	10

相場の見通しに合わせて戦略を使い分ける

戦略① 相場が上昇すると見込む場合は「コールの買い」	13
戦略② 相場が下落すると見込む場合は「プットの買い」	13
戦略③ 相場が横ばいと見込む場合は「カバードコール」	14

投資家の意向に合わせてオプションを選ぶ

個別株のリスクを回避しつつ利益を狙いたい	15
短期売買による利益を狙いたい	15
プレミアムを受け取りながら現物株の取得を狙いたい	16

米国株オプションを保有してからの管理方法

資金管理の方法	17
途中決済の方法	20
ロールオーバーの「攻め」と「守り」	24

Webull アプリの便利な機能

オプションの理論値シミュレーション	27
ボラティリティ分析の考え方	30
オプションのランキング機能を活用する	31
異常なアクティビティをチェック	32
決算発表日をチェック	33
オプション約定分析で市場の動きを読み解く	34
オプションの絞り込みに役立つスクリーナー	36
オプション用語集	38
よくあるご質問と回答	41
米国株オプション取引ならウィブル証券	44
Webull アプリのセキュリティ対策	45
Moneybull について	46



はじめに知っておきたい、 米国株とオプション取引の基本

世界経済をリードする米国株式市場

文字通り世界経済を牽引するのが米国株式市場です。NYSE（ニューヨーク証券取引所）とナスダック（IT・ハイテク関連企業中心の電子証券取引所）を合わせた時価総額は約 67 兆 3,900 億ドルで、国際取引所連合に加盟している取引所におけるシェアは約 45% となっています。

※出所：World Federation of Exchanges（2025 年 1 月時点）

Apple、Microsoft、Amazon、Tesla、NVIDIA など誰もが知る銘柄が集結しており、トヨタ、ソニーといった日本を代表する企業も ADR として上場しています。特に GAFAM と呼ばれるハイテク企業の株価は、世界市場全体に影響を与えるほどの存在感を持ち、決算発表や経済指標の発表時には株価が大きく動くことでも知られています。

また、ナスダック、S&P500 といった米国株の代表的指数は、近年は日本の個人投資家にも人気です。

ウィブル証券の米国株オプション取引は、そんな米国株を対象にしたオプション取引を可能とします。

幅広い銘柄に対して、オプション取引という選択肢

ウィブル証券では、米国の個別株、ETF（上場型投資信託）、指数オプションなど、合計約 4300 銘柄のオプション取引が可能です。その中でも、SPX オプションは米国でもっとも活発に取引されているオプション取引のひとつで、圧倒的な出来高となっています。

このように、豊富な選択肢があるウィブル証券の米国株オプション取引ですが、そもそもオプション取引とは一体何なのでしょう。この小冊子では、まったくの初心者の方でも理解できるよう、スマホの Webull アプリの画面を使いながら解説していきます。

オプション取引で投資の幅が大きく広がる

まず、相場に積極的に仕掛けるアクティブな取引があります。株価の上昇が見込まれるときはコールオプションの買い、下落が見込まれるときはプットオプションの買いを活用します。

オプションは株そのものではなく「権利」を売買するため、現物株の取引と比べて少額の資金から取引でき、レバレッジ効果により資金効率の高い取引が可能です。

もうひとつ、保有資産を有効活用する戦略も採用可能です。すでに株を保有している場合はカバードコール（コールオプションの売り）を活用することでプレミアムという形の現金収入を得られます。

また、購入を検討している株があるときはキャッシュ・セキュアード・プット（プットオプションの売り）を使うことで、プレミアムを受け取りながら割安での取得を狙うことができます。

これらの戦略の基本となるのが、コールとプットという2種類の権利です。コールは原資産を決められた価格で「買う権利」、プットは「売る権利」を指します。米国株オプション取引はアメリカン方式であり、満期日を待たずにいつでも権利行使が可能です。

米国株オプション取引の準備

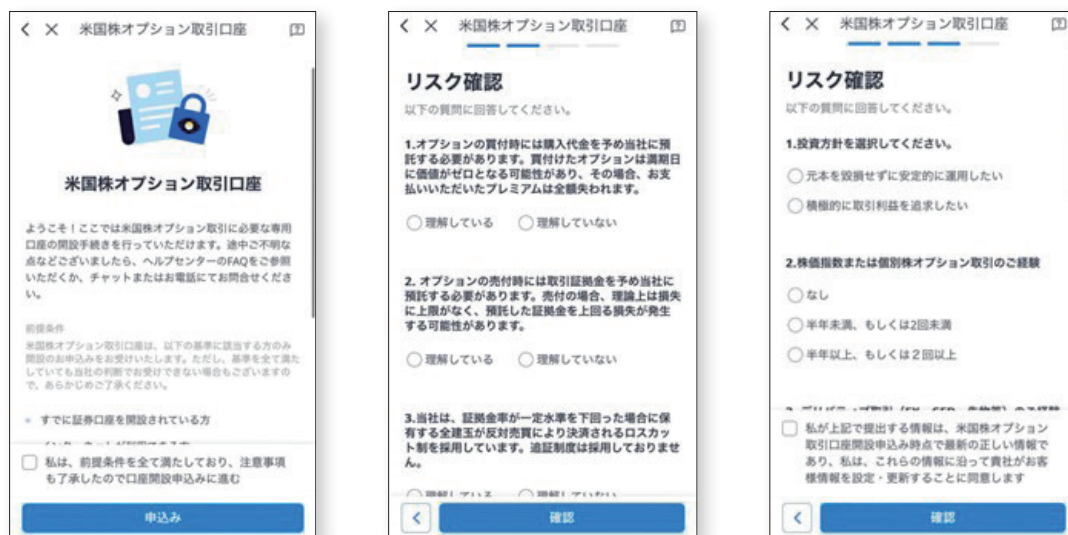
■米国株オプション口座の開設

証券口座を開設後、米国株オプション取引口座（以下、オプション口座）をお持ちでない場合はアプリ画面の右下にある「メニュー」をタップ→「設定」→「証券口座を管理」→「オプション取引」とお進みください。

同様の操作ですでにオプション口座をお持ちかどうかをご確認いただけます。



必要なフィールドにチェックを入れて送信いただくことでオプション口座開設申請が完了となります。



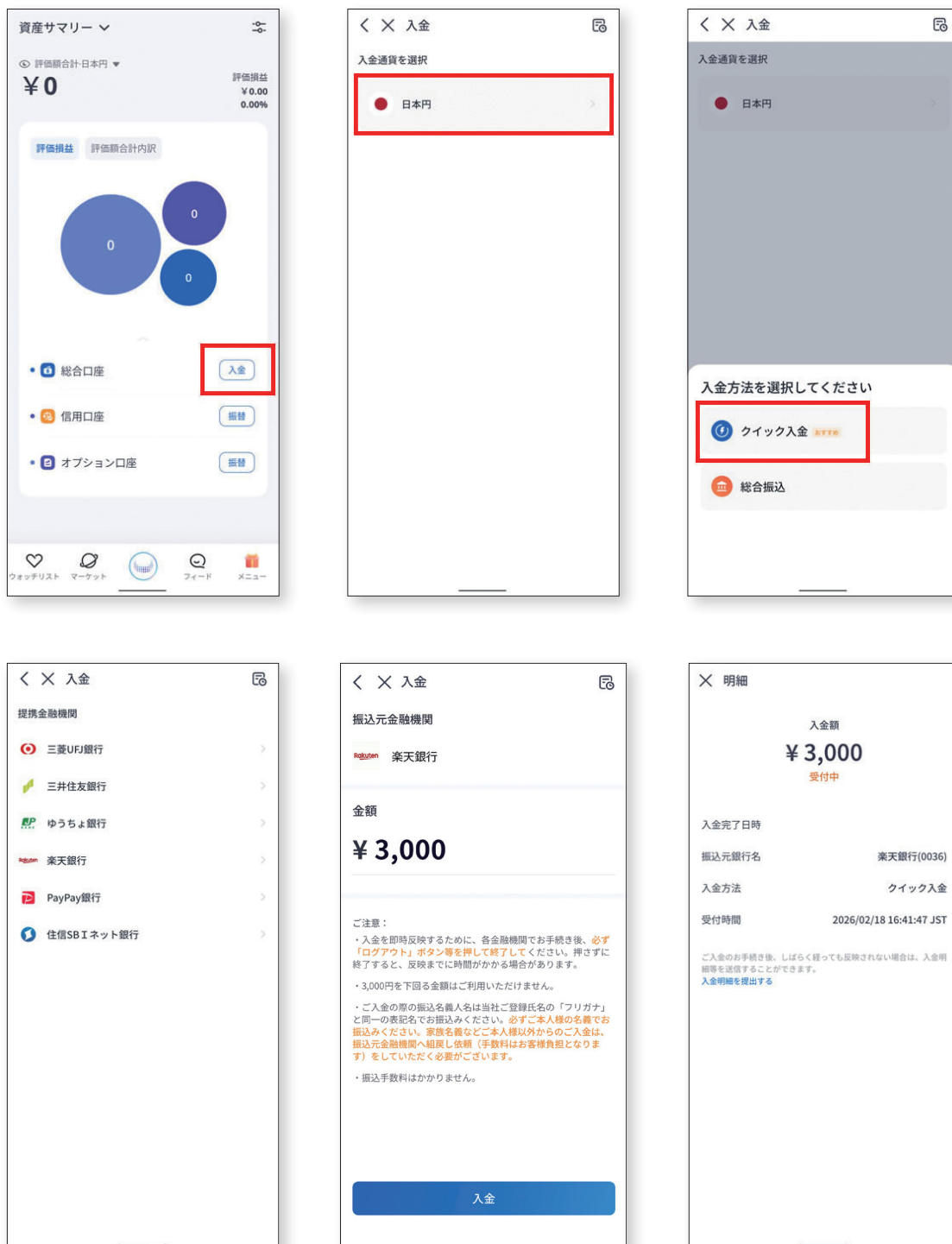
オプション口座の審査には通常 1 ～ 2 営業日をいただいております。なお、ウィブル証券で提供しているオプション取引は米国株のみであり、日本株オプションは提供しておりません。本書の本文中のオプション取引は、すべて米国株オプション取引を指します。

■口座への入金方法

Webull アプリの最下部中央にあるロゴマークをタップすると、資産サマリー画面になります。最初は総合口座に入金する必要があるため、総合口座の「入金」をタップし、次の画面で「日本円」をタップします。

クイック入金と総合振込を選択可能ですが、すぐに入金が反映されるクイック入金がおすすめです。

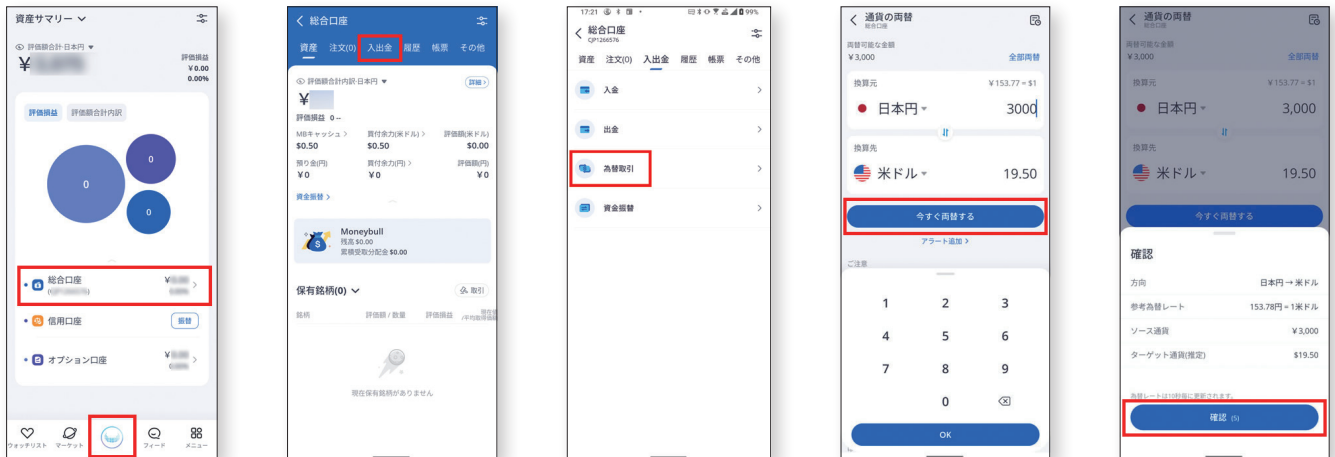
次の画面で提携金融機関を選びます。この例では、最低入金額である 3,000 円を楽天銀行から入金してみました。



■通貨を両替する方法

次に、米国株オプション取引を行うための米ドルを準備します。通貨の両替には、まず資産サマリーの画面で、「総合口座」をタップします。総合口座画面の「入出金」タブをタップして、「為替取引」を選択します。

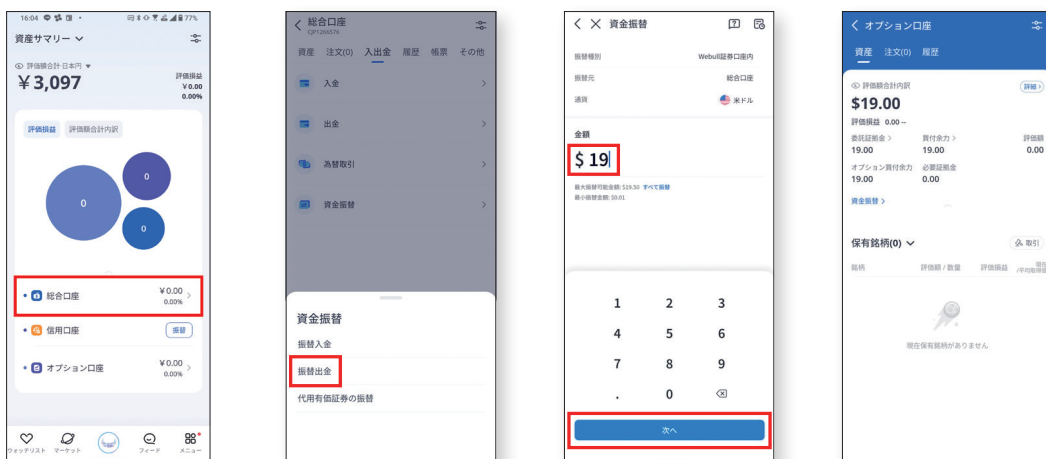
「通貨の両替」画面に遷移後、日本円の金額を入力し、下に表示された両替後の米ドルの金額を確認後、「今すぐ両替する」をタップします。次の画面で表示される為替レートを確認後、「確認」をタップします。為替レートは随時変動しているため、10秒を過ぎると適用レートを更新する必要があります。



■オプション口座に資金を振替える方法

両替をした米ドルを、次にオプション口座に振替えます。資産サマリー画面で「総合口座」をタップし、「振替入金」をタップします。

次の画面でオプション口座に振替えたい米ドルの金額を入力し、「次へ」をタップします。オプション口座に振替えをした資金が反映されていることを確認します。



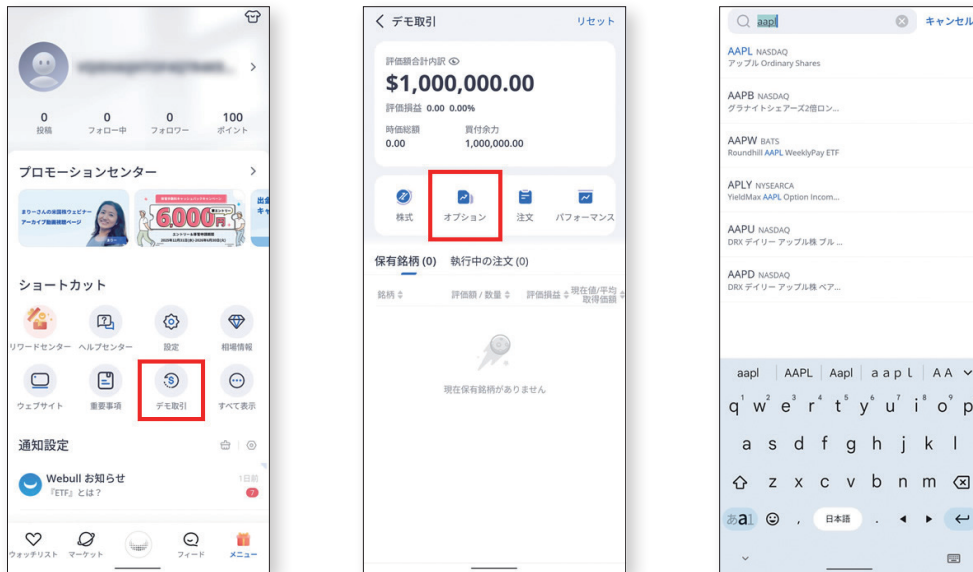
また、Moneybull（外貨建てMMFによる米ドル自動運用サービス）で運用されている資金についてもオプション口座の委託証拠金として利用可能です。ただし、外貨建てMMFの買付後、受け渡し日が未到来の場合はオプション口座への振替えはできません。

Moneybullの代用有価証券振替についての詳細は、巻末で紹介しています。

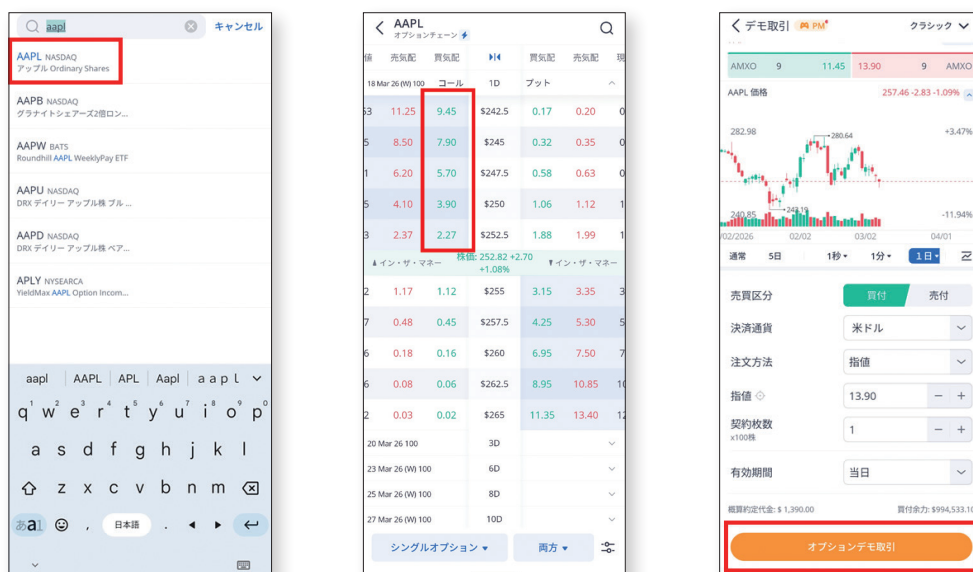
■ Webull アプリのデモ取引

Webull アプリでは、デモ取引が可能です。実際の値動きによる模擬的な取引ができるので、オプション取引が初めての方、ウィブル証券での取引が初めての方はデモ取引でオプション取引の世界やアプリの操作性を体感してみてください。アプリ最下部の「メニュー」をタップして、口座管理画面の「デモ取引」をタップします。

デモ取引画面で「オプション」をタップすると、銘柄検索画面になります。ここでは例として、アップルのティッカーシンボル「AAPL」を入力しています。



検索結果に表示されたアップルをタップすると、オプションチェーン画面になります。オプションチェーン画面で取引したいオプションをタップし（ここでは例として1Dのコール買いをタップします）、取引条件を確認して「オプションデモ取引」をタップします。最後に注文をした内容の確認画面が表示されるので、内容を確認します。



ここで登場したオプションチェーンや1D、コールといった用語や仕組みについては、順次解説していきます。なお、デモ取引では100万米ドルの仮想資金を使ってオプション取引を体験することができます。

米国株オプション取引の流れを理解しよう

資金の準備ができれば、米国株オプション取引を始めることができます。
最初に、取引する銘柄を選ぶためのオプションチェーンについて解説します。

■オプションチェーンは取引できるオプションのカタログ

取引できるオプションがカタログのように並べられている画面のことを、オプションチェーンといいます。
オプションチェーンを見ると、現在の相場の趨勢や投資家の心理、思惑などを探ることもできます。

行	売気配	買気配	行	買気配	売気配	行
20 Feb 26 100	コール	1D	ブット			
8	11.00	10.50	\$250	0.09	0.11	0
0	8.55	8.10	\$252.5	0.16	0.18	0
5	6.25	5.80	\$255	0.32	0.35	0
3	3.95	3.75	\$257.5	0.69	0.73	0
0	2.12	2.06	\$260	1.44	1.48	1
▲ イン・ザ・マネー 株価: 260.58 -3.77 -1.43% ▼ イン・ザ・マネー						
8	0.93	0.89	\$262.5	2.73	2.82	2
3	0.34	0.31	\$265	4.55	4.85	4
1	0.13	0.12	\$267.5	6.65	7.55	7
5	0.07	0.05	\$270	8.90	9.95	9
4	0.04	0.03	\$272.5	11.40	12.65	12
23 Feb 26 (W) 100		4D				
25 Feb 26 (W) 100		6D				
27 Feb 26 (W) 100		8D				
02 Mar 26 (W) 100		11D				
04 Mar 26 (W) 100		13D				
06 Mar 26 (W) 100		15D				
13 Mar 26 (W) 100		22D				
20 Mar 26 100		29D				
27 Mar 26 (W) 100		36D				
02 Apr 26 (W) 100		42D				
17 Apr 26 100		57D				
15 May 26 100		85D				
18 Jun 26 100		119D				
17 Jul 26 100		148D				
21 Aug 26 100		183D				
18 Sep 26 100		211D				
16 Oct 26 100		239D				

こちらは、アップル（AAPL）のオプションチェーンです。

取引可能なオプションが権利行使価格別に表示されています。

中央の「1D」は、満期までの日数です。1Dの場合は1日で、下部に「4D」とあるのは、4日を表します。さらに画面を下にスクロールすると、もっと日数ながいオプションが表示されます。

中央の「\$250」や「\$252.5」などの金額は権利行使価格を示しています。権利行使価格とは、オプション購入後、満期までの間にこの価格で対象の株式（ここでは AAPL）を買う、または売ることができるという価格です。そして左側がコール（買い）、右側がブット（売り）です。

行	売気配	買気配	行	買気配	売気配	行
20 Feb 26 100	コール	1D	ブット			
8	11.00	10.50	\$250	0.09	0.11	0
0	8.55	8.10	\$252.5	0.16	0.18	0
5	6.25	5.80	\$255	0.32	0.35	0
3	3.95	3.75	\$257.5	0.69	0.73	0
0	2.12	2.06	\$260	1.44	1.48	1
▲ イン・ザ・マネー 株価: 260.58 -3.77 -1.43% ▼ イン・ザ・マネー						
8	0.93	0.89	\$262.5	2.73	2.82	2
3	0.34	0.31	\$265	4.55	4.85	4
1	0.13	0.12	\$267.5	6.65	7.55	7
5	0.07	0.05	\$270	8.90	9.95	9
4	0.04	0.03	\$272.5	11.40	12.65	12
23 Feb 26 (W) 100		4D				
25 Feb 26 (W) 100		6D				
27 Feb 26 (W) 100		8D				
15分の遅延です。クリックしてリアルタイムの呼値をサブスクライブします。 >						

先ほどのオプションチェーンにある1Dの\$250では、コールのオプションは10.50と表示されています（赤い囲み部分）。これは、「アップル株を250ドルで買うことができる満期まで1日の権利」が10.50ドルで取引されていることを意味します。

その他にも、オプションチェーンには多くの情報があります。オプションチェーン画面を横にスワイプすると、変化率や出来高、市場建玉、IVなどの指標が表示されていますが、これらの意味については後述します。

■オプション取引の 4 ステップ

オプション取引をする際には、4つのステップで投資家が投資判断をします。オプションチェーンを読み解きながら、投資判断をする方法を解説しましょう。

ステップ① 取引の目線を決める（上か下か？）

対象となる銘柄の価格が上昇すると思うのであれば上目線、下落すると思うのであれば下目線といったように、価格の目線を決めます。

上目線であればコールオプション、下目線であればプットオプションを選ぶのが基本です。

ステップ② 満期日を決める（いつまでに？）

オプションには満期日があります。権利を行使できる期限をいつにするのかを選びます。最も短いのは当日満期の「OD」で、「1D」は1日、「4D」は4日…といったように、満期までの期日を選びます。アプリのオプションチェーンでは満期日も表示されているため、日数と権利行使期限の日程を併せてチェックしておきましょう。

一般的に満期日までの日数が長いほど時間的価値（利益を狙えるチャンス）があるため、オプション価格は高くなります。

ステップ③ 権利行使価格を決める（いくらで？）

3つ目のステップは、権利行使価格の選定です。「オプションの買い手が期日になったらいくらで買いもしくは売りの権利を行使するか」の価格を決める必要があります。現在の原資産価格との関係において、権利行使価格を決めるには3つの考え方があります。

☒ 原資産とは

オプションの価値の元になる金融資産のこと。米国株オプションであれば米国株の個別銘柄、ETFなどが原資産です。

ITM (イン・ザ・マネー)	原資産価格より有利な価格です。権利を行使すると利益になる可能性が高いため、手堅い選択肢です。
OTM (アウト・オブ・ザ・マネー)	原資産価格より不利な価格です。権利を行使するとマイナスになる可能性が高いためオプション価格は安くなります。 オプション価格を安く抑えて相場が有利な方向に動けば利益が大きくなります。
ATM (アット・ザ・マネー)	原資産価格と等しい価格です。損益が中立の状態であり、これからの値動きによってプラスになるかマイナスになるかが決まります。

ステップ④ 投資判断に重要な指標を確認する

オプションチェーンには多くの指標が表示されていますが、特に重要なのが以下の3つです。注文を出す前に、これらの指標をチェックしましょう。

●現在価格

取引されているオプションの価格で、「プレミアム」と表記されることもあります。オプションを買いたい場合はオプションチェーンの売気配、売りたい場合は買気配の価格をチェックします。

買気配、売気配の価格に加えて、仲値を参照することもあります。仲値とは買気配の価格と売気配の価格の中間値のことで、適正価格の判断や約定価格の見通しを立てる時などに用いられます。

Webull アプリで価格を知りたい銘柄を検索し、発注画面で注文方法を「指値」に設定し、指値の価格部分をタップして「ビッド」と「アスク」の間にある「半ば」の価格を確認することで、仲値が分かります。



●出来高

オプションの取引量で、流動性の高低を示します。流動性が高いほど売買注文が成立しやすくなります。このオプションチェーンを見ると、期限1日の出来高がプットに傾斜していることが分かります。プット（売り）のオプション取引が活発になるということは、その局面では多くの投資家が下目線を持っていることが窺えます。

期限	市場買玉	出来高	MM	出来高	市場買玉
20 Feb 20 100	コール	10	プット		
	7,681	227	\$250	3,399	17,188
	2,800	151	\$252.5	3,380	3,840
	20,613	3,056	\$255	29,217	14,294
	4,132	2,294	\$257.5	12,776	4,262
	22,773	10,369	\$260	29,978	11,827

●IV

「インプライド・ボラティリティ」の略で、市場が値動きの激しさをどう見ているのかを示します。オプション価格から算出され、投資家が今後の値動きに対して荒い値動きを見通しているのであればIVは高くなり、逆に安定的な目線を持っているのであればIVは低くなります。

Webull アプリでは「予想変動率」とも表記されています。

AAPL オプションチェーン (円)		Q		
期限変動率(IV)	市場買玉	MM	市場買玉	予想変動率(IV)
20 Feb 20 100	コール	10	プット	
48.83%	7,681	\$250	17,188	48.83%
43.98%	2,800	\$252.5	3,840	43.98%
39.61%	20,613	\$255	14,294	39.61%
36.24%	4,132	\$257.5	4,262	36.24%
33.70%	22,773	\$260	11,827	33.70%

★イン・ザ・マネー 価格: 260.58 1.37 - 4.70% イン・ザ・マネー

31.34%	8,597	\$262.5	4,915	31.34%
30.24%	25,656	\$265	9,384	30.24%
31.96%	7,156	\$267.5	3,104	31.96%
35.60%	34,767	\$270	9,340	35.60%
39.77%	9,848	\$272.5	3,114	39.77%
23 Feb 20 100	コール	40	プット	
30.10%	28	\$250	1,166	30.10%

15分の変動率: クリックしてリアルタイムの市場価格をサブスク
ライブします。 >

シングルオプション ▶ 両方 ▶

■実際にオプション取引をやってみよう

それではさらに実践的に、オプション取引の実例を紹介しましょう。

先ほどから例として使用しているアップルの株価が上昇すると考えた場合を想定して、コールオプションを取引する過程を4つのステップに分けて解説します。

ステップ① 市場の心理をチェックする

このスクリーンショットは、WebullアプリのAAPLオプションチェーン画面の「オプション統計」タブを示しています。このタブでは、コールとプットの比率（PCR）を確認できます。

大多数の投資家はどのように考えているのか、これを最初にチェックします。オプションの出来高がコールとプットのどちらかに傾斜しているかによって、市場の心理を読み解くことができます。なお、コールとプットの比率のことをPCR（プットコールレシオ）といいます。

Webullアプリでコールとプットの比率をチェックするには、オプションチェーンの隣にある「オプション統計」をタップします。



コールとプットの取引量が表示されていますが、この場合はほぼ同じです。上目線と下目線の投資家がほぼ同じということになり、どちらにも傾斜していないことが分かります。

このスクリーンショットは、WebullアプリのAAPLオプションチェーン画面の「出来高分析」タブを示しています。ここでは、最も取引が盛んなオプションの出来高を確認できます。

しかし、権利行使価格別に見ると少し様相が変わります。画面を下にスクロールすると権利行使価格別のコールとプットの出来高を確認することができます。

権利行使価格265ドルのオプションはコールに傾斜しており、「265ドルよりも株価が上昇する」と見通している投資家が多数派であることが読み取れます。

さらに別の権利行使価格を見ると、出来高は少ないものの270ドルや267.5ドルであってもコールが多数派になっているため、これらの株価帯では強気ムードであると考えられます。

ステップ② 将来のボラティリティをチェックする

次に、IV をチェックしてみましょう。今後の値動きの荒さに対する投資家の見通しを知ることができ、価格との相関性も確認できます。

一般的に IV が低い場合は平穏な値動きを想定しているため、オプション価格は割安になります。その一方で IV が高いと市場に警戒感や不安があるのと同時に利益を狙えるチャンスも多くなるため、需要が増えることからオプション価格は高くなります。

こちらは、アップル株、期限 28 日のオプションチェーンです。IV を見るとコールもプットも 30% 前後になっており、28 日のうちに極端な相場展開になることはそれほど想定されていないと読み取れます。

アップル株など個別株の場合、一般的な IV の目安は以下の通りです。

30% 未満	低い
30% ~ 50%	中立
50% ~ 80%	高い
80% 以上	イベント相場

☒ イベント相場とは

企業決算や経済指標の発表などのイベントによる大きな変動が起きている状態のこと。

予想変動率(IV)	市場建	コール	プット	予想変動率(IV)
30.72%	2,69	\$245	\$,130	30.72%
29.35%	13,86	\$250	1,243	29.35%
28.06%	6,68	\$255	1,785	28.06%
26.84%	27,44	\$260	3,371	26.84%
25.71%	7,44	\$265	4,090	25.71%
24.76%	22,61	\$270	4,306	24.76%
24.05%	27,91	\$275	4,205	24.05%
23.67%	67,30	\$280	4,041	23.67%
23.66%	29,97	\$285	358	23.66%

ステップ③ 取引するオプションを絞り込む

3 つ目のステップでは、最終的に取引するオプションを絞り込みます。この際に選択をするのは 2 つの項目です。

● 権利行使価格

権利行使価格と株価の関係において、3 つの状態を紹介しました。ITM（イン・ザ・マネー）と OTM（アウト・オブ・ザ・マネー）、そして ATM（アット・ザ・マネー）です。

ITM は安全性を重視し支払うプレミアムは高いが、利益確定がしやすく、一方で、OTM はハイリスク・ハイリターン志向で、少額資金で大きな利益を狙う場合に選びます。

ATM はバランス型で、適度なリスクとリターンを求める場合に時間価値が最大であるため、方向性に自信がある場合に選びます。

リスク許容度 : ■低い ITM ■高い OTM

資金量 : ■少ない OTM ■多い ITM

相場の方向感 : ■確信度が高い .. ATM/OTM ■低い ITM

初心者は ATM から始めるのが一般的です。経験を積んでから自分の投資スタイルに合わせて調整していきましょう。

●満期日

オプションは満期までの日数が短いほど損益が大きく変動し、日数が長いとリスクが低減されます。日数が短いオプションは時間的価値が少ないため価格は安いですが、その一方でリスクが高くなることを押さえておいてください。

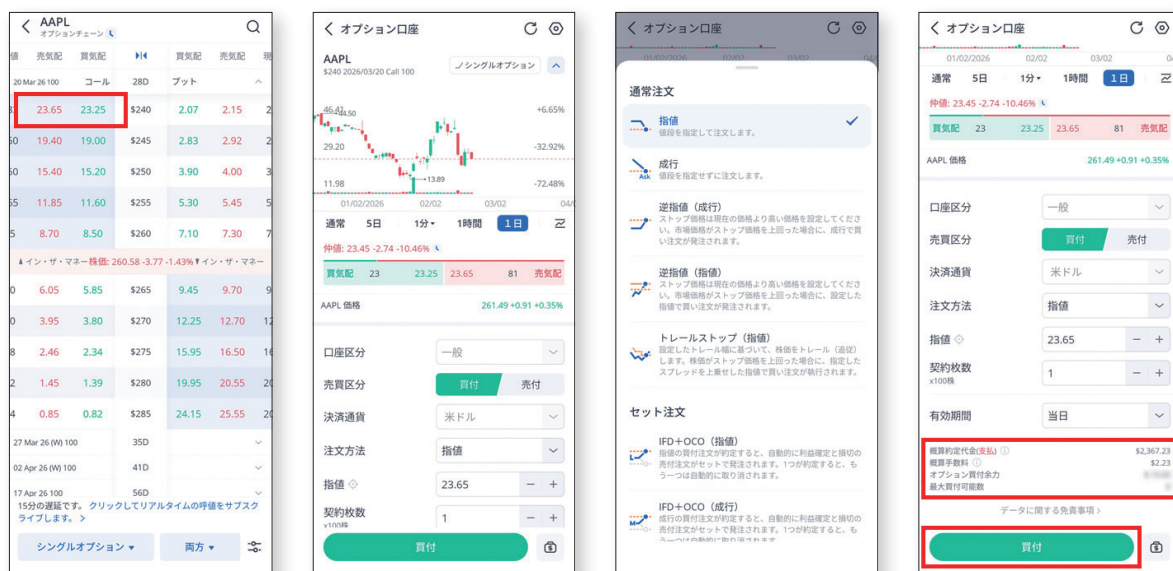
オプション取引の初心者は数週間から2か月程度の日数を選ぶのが無難でしょう。

ステップ④ 取引を試算して発注

それでは、アップル株の満期日が28日後、権利行使価格が240ドルのコールオプションの買いを発注してみましょう。オプションチェーン画面で「28D」を開き、「\$240」のコールをタップします。この時点での売気配値は23.65ドルです。

初期状態の注文方法は指値になっていますが、注文方法の欄をタップすると、成行や逆指値、トレールストップなど多彩な注文方法を選択可能です。

指値の価格については、ビッド（売り）とアスク（買い）に加えて、仲値も設定可能です。価格が表示されている欄をタップすると、ビッドとアスクに加えて「半ば」として仲値が表示されるので、この部分をタップすると、仲値が指値として自動的に反映されます。



注文設定の下に概算の約定代金が表示されます。この取引で必要になるコストが手数料とともに表示されるので、こちらを確認して「買付」をタップします。

相場の見通しに合わせて戦略を使い分ける

株式などの投資は価格上昇を見込んで「買い」で取引を開始するのが一般的ですが、オプション取引は上昇だけでなく下落や横ばいといった値動きに対しても有効な戦略を立てることができます。

上昇を見込む場合と下落を見込む場合、そして横ばいを見込む場合の、それぞれの基本的なオプション戦略を紹介します。

戦略① 相場が上昇すると見込む場合は「コールの買い」

上昇を見込む場合は、コールオプションを買うのが基本線です。コールオプションは権利行使価格で株を買うことができる権利なので、権利行使価格よりも市場価格が高くなれば、その差額が利益になります。

逆に市場価格が権利行使価格を上回らない場合は、権利を放棄します。権利を放棄した場合、損失はコールオプションを購入した金額に限定されます。

戦略② 相場が下落すると見込む場合は「プットの買い」

下落を見込む場合は、プットオプションを買うのが基本線です。プットオプションは権利行使価格で株を売ることができる権利なので、市場価格が権利行使価格よりも低ければその差額が利益になります。

市場価格が予想に反して上昇し、権利行使価格を上回ったとしても、権利を放棄すれば損失はプットオプションを購入した金額に限定されます。

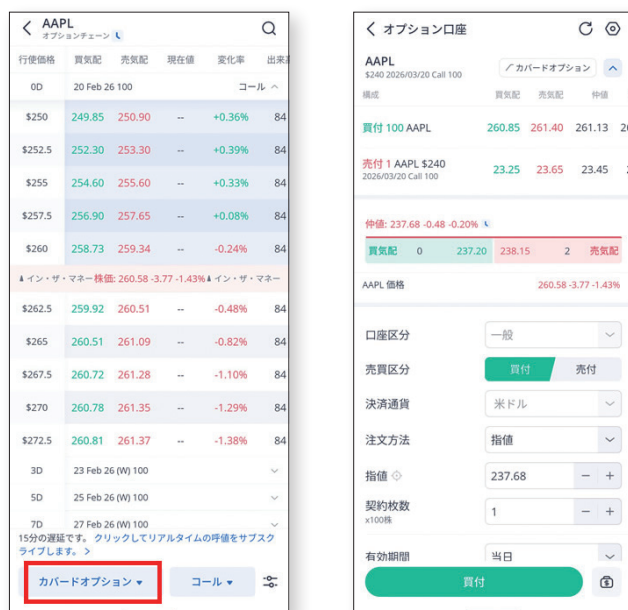
戦略③ 相場が横ばいと見込む場合は「カバードコール」

オプション取引には、相場が横ばいになると予想する場合にも有効な戦略があります。代表的な戦略が、カバードコールです。対象となる現物株などの原資産を保有しつつ、同じ銘柄のコールオプションを売ることで、オプション料（プレミアム）を受け取ることができます。

Webull アプリでカバードコールを注文するには、オプションチェーン画面の下部の「シングルオプション」と表示されているボタンをタップして、「カバードオプション」に切り替えます。

カバードオプションに切り替えたオプションチェーンで、権利行使価格から売却するコールオプションを選びます。

カバードコールのために必要な現物株の発注と、コールオプションの売却が同時に行われるため、発注画面には 2 つの注文が表示されます。



この画面では、アップルの現物株 100 株の買い注文と 240 ドルのコールオプションの売り注文が表示されています。

< Point >

コールオプションを売ると、相場が上昇した際に買い手が権利を行使することで売り手には損失となります。そのリスクの対価としてコールオプションの買い手は購入時にオプション料（プレミアム）を支払います。そのため、コールオプションを売るとオプション料が収入源となります。

カバードコールに必要な現物株をすでに総合口座で保有している場合は、その現物株をオプション口座に振り替えてカバードコールを取引することができます。この場合は現物株を購入する必要がないため、「総合口座からオプション口座への現物株の振替」と「コールオプションの売り」を行うことになります。

※総合口座からオプション口座への現物株の振替については P.41 の Q：総合口座にある現物の米国株式をオプション口座に振替えることはできますか？を参照

投資家の意向に合わせてオプションを選ぶ

投資家それぞれに思惑や意向があります。オプションを活用すると幅広い投資ニーズを満たすことができるため、ここではさまざまな意向に合わせてオプションを選ぶ方法を解説します。

■個別株のリスクを回避しつつ利益を狙いたい

個別株オプションには、個別株投資と同様のリスクがあります。特定の銘柄に集中投資するのではなく幅広い銘柄に分散投資をしたい場合は、株価指数オプションを選ぶ戦略もあります。

米国株の代表的な株価指数には、ナスダック 100 指数や S&P500 などがあります。ウィブル証券ではナスダック 100 指数や S&P500 をはじめ、VIX 指数など豊富な株価指数オプションの取引が可能なため、リスクを分散しつつ利益を狙うことができます。

■短期売買による利益を狙いたい

ここまでは満期まで 28 日のオプションを例にするなど、初心者向けに少し長めのオプションについて解説しました。逆に短期売買で利益を出したいと考えている場合は、満期までの日数が短いオプションが適しています。

ODTE と呼ばれるオプションは、「Zero Days To Expiration」の略で、満期までゼロ日という意味です。つまり取引当日に満期を迎える、最も日数が短いオプションです。時間的価値の減衰が最も速いため、市場の短期的な変動に対応しやすい特徴があります。

Webull アプリでは、オプションチェーンの一番上に OD のオプションが表示されます。

AAPL オプションチェーン					
値	売気配	買気配		買気配	売気配
20 Feb 26 100	コール	OD	プット		
70	12.85	10.80	\$252.5	0.00	0.01
0	9.95	9.00	\$255	0.00	0.01
7	7.60	6.75	\$257.5	0.00	0.01
0	4.90	4.00	\$260	0.00	0.01
0	2.44	1.90	\$262.5	0.00	0.01
▲ イン・ザ・マネー 株価: 264.58 +4.00 +1.54% ▼ イン・ザ・マネー					
8	0.12	0.08	\$265	0.30	0.61
1	0.01	0.00	\$267.5	2.62	3.40
1	0.01	0.00	\$270	4.35	6.45
1	0.01	0.00	\$272.5	6.75	9.10
1	0.01	0.00	\$275	9.25	11.70
23 Feb 26 (W) 100 3D					
25 Feb 26 (W) 100 5D					
27 Feb 26 (W) 100 7D					
15分の遅延です。クリックしてリアルタイムの呼値をサブスクライブします。 >					
シングルオプション		両方			

ODTE は、重要な経済指標の発表や当局による金融政策の発表など、ファンダメンタルズ要因が市場に大きな影響を与えるようなタイミングに大きな利益を狙えるオプションです。

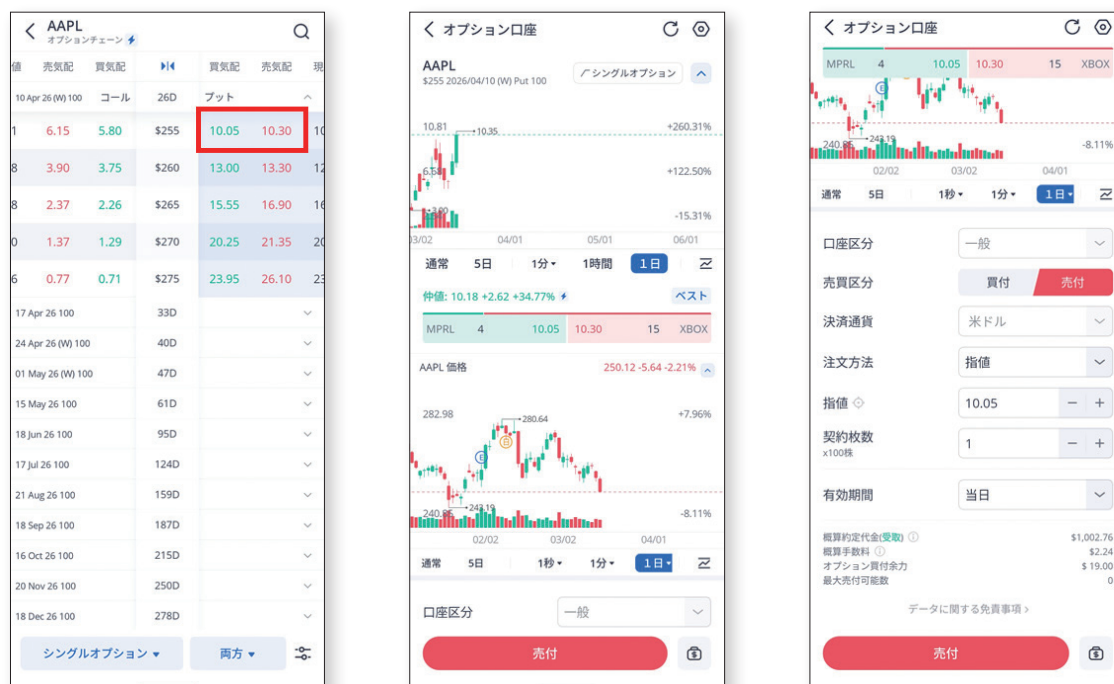
ただし、大きな利益を狙える反面、市場の変動による影響を強く受けるため、十分なリスク管理と事前にいくつかの戦略を考えておくなど慎重なトレードが求められます。

■プレミアムを受け取りながら現物株の取得を狙いたい

現物株を希望する価格で購入するには指値を利用しますが、それだけだと株式を購入するまでは損益が全く発生しません。そこで検討したい戦略が、「ターゲットバイ（Target Buy）」です。

現物株を購入したい価格を決め、その価格を権利行使価格とする対象銘柄のプットオプションを売ります。オプションを売ることによってプレミアムを受け取り、満期になった時に現物の株価が権利行使価格を下回っていれば、プットオプションの権利行使を受けることにより現物株を購入します。

逆に株価が権利行使価格を下回らなければ、プットオプションが権利行使されないため、結果的に現物株を購入することはありません。これにより、現物株の購入を前提にしつつ、プレミアム収入を得ることで実質的に現物株の取得コストを抑えることができます。



対象銘柄のオプションチェーンで、「この価格で現物株を購入したい」と思う権利行使価格のプットをタップし、オプション取引画面に必要事項を入力、選択して売付をします。

なお、プットオプションを売る場合、買い手によって権利が行使された場合に備えて現物株の購入資金を用意します。このように必要資金を用意しつつプットオプションを売ってプレミアムを受け取る取引手法を、キャッシュ・セキュアード・プット（CSP）といいます。

米国株オプションを保有してからの管理方法

■資金管理の方法

新た取引を開始するだけでなく、取引をした後の管理がオプション取引ではとても重要です。なぜなら、オプションには満期があり、市場の動向によって保有しているオプションの価値は刻一刻と変動するからです。

オプションを保有した後は、何をチェックし、どう動くべきなのでしょう。チェックすべき項目は、6 つあります。

要チェック項目① 保有中のオプション評価を確認する

保有しているオプションが今どんな状況にあるのかを、最初にチェックしましょう。チェックすべき項目は、評価損益や満期までの残存日数などです。株式投資であれば保有銘柄の状況、FX であれば保有ポジションの状況をチェックするのと同様です。

ただし、オプションには満期までの残存日数があるというルールにより、仮に含み損がある場合であっても、残存日数の長短によって評価は大きく異なります。タイムディケイといって時間が経過することによって時間的価値が減少するため、買い手にとっては残存日数が長いほど価値が高くなり、時間の経過とともにその価値は低くなっていきます。

Webull アプリでオプション口座の画面を開くと、保有中の銘柄が表示されます。状況を確認したい銘柄をタップすると、現在の状況が表示されます。



この場合、245 ドルのコールオプションを保有している状態でアップルの株価が 264 ドル台になっているため、オプションでは 363 ドルの含み益が出ています。

要チェック項目② ITMの有無を確認する

保有中のオプションがITM（イン・ザ・マネー）であるかどうかを確認します。ITMであれば利益になる可能性が高く、そのオプションには本質的価値があります。コールオプションは株価が権利行使価格よりも高い、プットオプションは株価が権利行使価格よりも低いことで、ITMと判断できます。

逆にOTM（アウト・オブ・ザ・マネー）の場合は、残存日数との兼ね合いを見てまだ動いてITMになる余地があるかどうかを考慮します。残存日数が少なくなってきたITMになりそうにないと判断したのであれば、一度手仕舞いをする選択肢もあります。

要チェック項目③ タイムディケイを確認する

オプション独自の概念である時間的価値は、保有している日数が経つほど減少していきます。これを、タイムディケイといいます。時間の経過がコストであるという意識を持つことが、オプション取引では特に重要です。

満期日が近づくとさらに早くタイムディケイが進行するため、保有しているオプションの残存日数が少なくなってきたら、利益確定もしくは損切りをするか、満期まで保有し続けるか、さらにはロールオーバーによって満期を先に延ばすかの選択をする必要があります。ロールオーバーについては、次の章で解説します。

要チェック項目④ 出口戦略を確認する

どんな投資にも、出口戦略があります。オプションには満期の概念があるため、「そのうち決める」という意識だと間に合わないことがあります。そこで、オプションを保有したらその時点で出口戦略を立てておくことが大切です。

利益確定や損切りの水準はもちろん、時間的価値の減少が早まってきたら早期に利益確定もしくは損切りをしてしまう、といったことを、あらかじめマイルールとして決めておくことが重要です。

感情ではなくマイルールを粛々と実行することが重要なのは、株式やFXなど他の投資と同じです。オプションには時間的価値の概念があるため、その重要性がより高いと意識しておきましょう。

要チェック項目⑤ 満期になったらどうするかを確認する

残存日数が少なくなり、満期が近づいてきたらどうするのかの選択を迫られるのは、オプション取引特有の概念です。満期になった場合に取り得る選択肢は、3 つあります。

そのまま満期を迎える、満期直前に手仕舞いをする、そしてロールオーバーによって満期を先送りにする、という3 つから選ぶことになります。

満期日に ITM となったオプションは、通常自動的に権利行使されます。コールオプションが行使されると株式を購入するための資金が必要となり、プットオプションが行使されると株式を売却するため、保有株式が必要となる場合があります。事前に必要資金や保有株数を確認しておくことが重要です。

ロールオーバーについては、次の章で解説します。

要チェック項目⑥ 満期日直前の通知で行動を最終確認する

いよいよオプションの満期直前になったら、保有しているオプションの取り扱いを決める最終判断をします。この段階で確認しておくべきことは、3 つあります。

● ITM なのか、OTM なのか

ITM であれば満期と同時に権利行使、OTM であれば自動的に権利が消滅します。

● 権利が行使された場合の資金や株式は十分にあるか

前項で解説したように、オプションが権利行使となった場合は株式の購入や売却が行われます。そのための資金や株式が十分にあるかを最終的に確認しておきましょう。

● 満期になる前に売却して残っている価値を少しでも回収するか

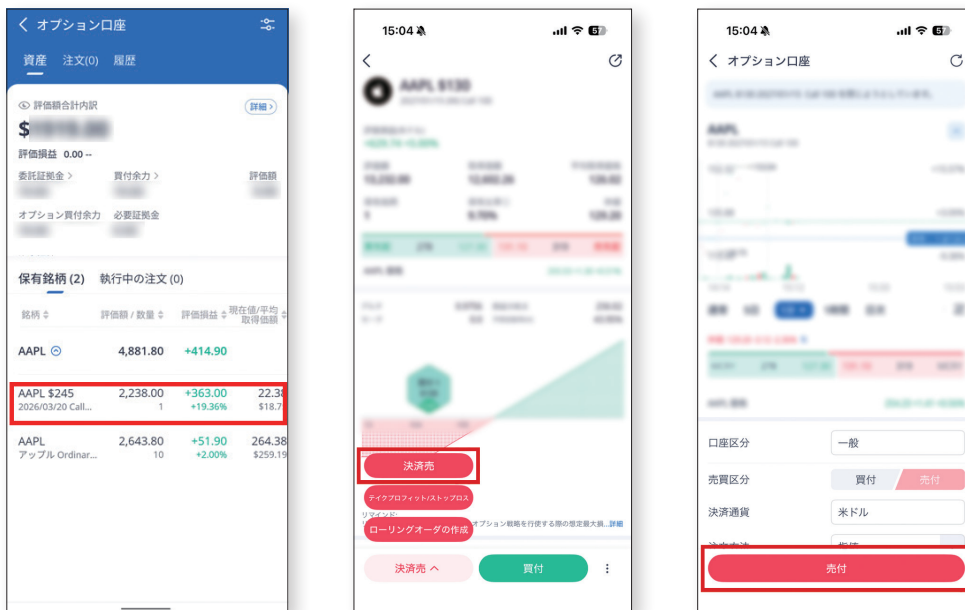
OTM で満期を迎えると、オプションは権利が消滅します。その直前であればまだ意思決定の余地があるので、残っている価値を少しでも回収するのが良いのかを最終的に決めます。

■ 途中決済の方法

オプションの買いは途中決済が一般的

保有しているオプションを満期まで待たずに決済することを、途中決済といいます。オプション取引ではコール、プットともに買いのポジションは途中決済をするのが一般的です。

なぜなら、オプションには時間的価値の概念があり、時間が経つごとに価値が減少していくからです。時間的価値は原資産価格に関係なく減少するため、時間が経つほど不利になってしまいます。そのため、時間的価値が失われる前に売却をして利益を確定する（もしくは損失を限定する）のが一般的になるわけです。



保有中のオプションを途中売却するには、売却したいオプションをタップし、オプションの詳細画面で「決済売」をタップ、次の確認画面で「売付」をタップして完了です。

< Point > オプション取引には、ヨーロピアンタイプとアメリカンタイプがあります。前者のヨーロピアンタイプは満期日にのみ権利行使ができるオプションで、後者のアメリカンタイプは満期までの期間であればいつでも権利行使ができます。

米国株オプションはアメリカンタイプなので、購入したオプションについてはコール、プットともに途中での権利行使が可能です。

購入したオプションを満期まで持っている

コールオプション、もしくはプットオプションの買いを持ったまま満期を迎えると、以下のように自動処理されます。

● ITM の場合

オプションの権利が行使され、原資産の購入もしくは売却が行われます。

● OTM の場合

オプションの価値はゼロになり、自動的に権利が消滅します。この場合、最大損失はオプション価格に限定されます。

ITM で権利行使に必要な条件を満たしている場合の処理

ITM の状態でオプションが満期を迎えると、自動的に権利が行使されます。

コール、プットそれぞれのオプションの権利行使は、以下の流れとなります。

●コールオプションの買い

コールオプションは株式を購入する権利なので、満期になったら権利行使価格で株式を購入します。この場合、オプション 1 枚は 100 株として発注されます。ITM のコールオプションでは株価よりも安い価格で株式を購入することができます。

●プットオプションの買い

ITM の状態でプットオプションが満期を迎えると、株式を 1 枚 = 100 株の単位で売却する権利が行使されます。保有株式がある場合は売却されます。ITM では株価よりも高い価格で株式を売却することができます。

ITM で権利行使に必要な条件を満たしていない場合の処理

先ほどの解説は、いずれも株式を購入もしくは売却できる条件を満たしている場合の処理です。では、コール、プットともに満期日を迎えて権利行使となっても条件を満たしていない場合はどうなるのでしょうか。

●コールオプションの買い

権利行使に必要な資金がオプション口座に不足している場合、満期日の取引終了前に自動的に売却されます。

●プットオプションの買い

対象の現物株がオプション口座に不足している場合、買いポジションは満期日の取引終了前に決済されます。

オプションの売りは満期まで保有するのが基本

オプションの買いには途中決済や満期による権利行使といった選択肢がありますが、オプションの売りは途中決済をすると主要な収益であるプレミアムを減らすことにつながるため、満期まで保有するのが一般的です。

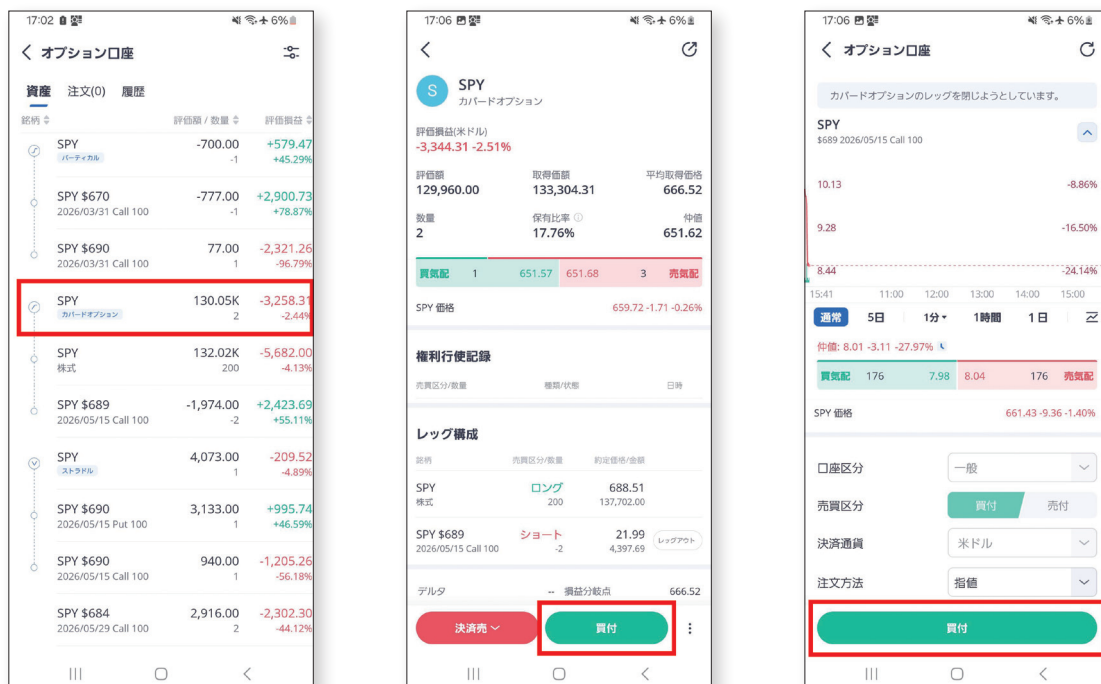
カバードコールの途中決済

コールオプションの売りと現物株を同時に保有するカバードコールでは、コールオプションだけを買戻す方法と、現物株も一緒に決済する方法の2通りがあります。

カバードコールの組成を解除してコールオプションのみ途中決済（レッグアウト）する場合は、まず保有銘柄の中からカバードオプションとして組成されているポジションを探し、銘柄名をタップします。

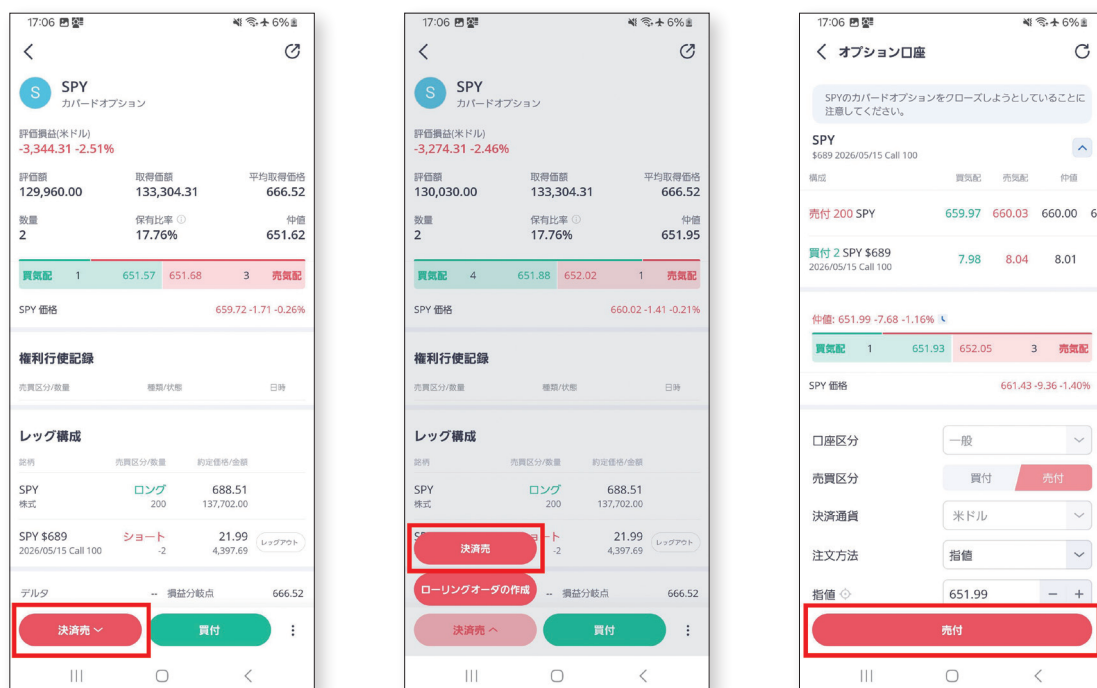
次に「レッグの構成」内のコールオプションの売りポジションにある「レッグアウト」をタップします。そうすると、コールオプションを買戻す注文画面が開きます。

最後に、注文方法・指値価格などを入力して、「買付」をタップします。



コールオプションと現物株の同時決済をする場合は、保有銘柄の中からカバードオプションとして組成されているポジションを探し、銘柄名をタップします。

レグ構成として現物株とコールオプションの売りが表示されているのを確認し、「決済売」をタップします。次の画面で内容を確認し、注文を送信します。



■ロールオーバーの「攻め」と「守り」

保有しているオプションを一旦決済した上で、再度別の満期日や権利行使価格でオプションを保有し直すことを、ロールオーバーといいます。保有しているオプションの満期日をさらに先に延ばすことが目的ですが、そこには「攻め」と「守り」という2つの視点があります。

銘柄	評価額 / 数量	評価損益	現在値/平均取得価格
AAPL	4,881.80	+414.90	
AAPL \$245 2026/03/20 Call...	2,238.00	+363.00	22.38
AAPL	2,643.80	+51.90	264.38

ロールオーバーの手続き方法

Webull アプリでロールオーバーをする手順は、2ステップです。
最初に、ロールオーバーしたいオプションをタップして、途中決済します。

値	売気配	買気配	買気配	売気配	現
20 Feb 25 100	コール	1D	ブット		
58	11.00	10.50	\$250	0.09	0.11
0	8.55	8.10	\$252.5	0.16	0.18
5	6.25	5.80	\$255	0.32	0.35
3	3.95	3.75	\$257.5	0.69	0.73
0	2.12	2.06	\$260	1.44	1.48

値	売気配	買気配	買気配	売気配	現
8	0.93	0.89	\$262.5	2.73	2.82
3	0.34	0.31	\$265	4.55	4.85
1	0.13	0.12	\$267.5	6.65	7.55
6	0.07	0.05	\$270	8.90	9.95
4	0.04	0.03	\$272.5	11.40	12.65

次に、新たに保有したいオプションをオプションチェーンから選択します。希望する権利行使価格、満期日を選んでタップし、発注の操作をします。

「攻め」のロールオーバー

保有しているオプションがすでに ITM になっていて、さらにそのトレンドが継続すれば利益が拡大する場合には、「攻め」のロールオーバーが有効です。

ITM になっているオプションを一旦手仕舞いして利益確定した上で、新たにオプションを保有してトレンドに再参加します。

ロールオーバーに追加の資金を使うことがほとんどなく、「有利なポジションを延長する」というイメージです。

「守り」のロールオーバー

現物株を保有しているかどうかにかかわらず必要な資金を用意した上でプットオプションを売り、プレミアムを受け取る戦略を「キャッシュ・セキュアード・プット (CSP)」といいます。しかし、プットオプションを売ると、買い手からプレミアムを受け取ることができる一方で、権利を行使された際に不利な価格で株式を「買わされるリスク」があります。

そこで満期直前にオプションのロールオーバーを行い、より権利行使価格を低く、さらに満期までの日数が長い新たなオプションを保有し、「買わされるリスク」を軽減します。

カバードコールではロールオーバーが「攻め」にも「守り」にもなる

現物株を保有しつつ同じ銘柄のコールオプションを売るのが、カバードコール戦略です。カバードコールではロールオーバーが攻守どちらにも活用できます。



●攻める考え方

株価の上昇が見込まれる場合、コールオプションの買い手に現物株を「買われる」リスクを遠ざける必要があります。そこで売っているコールオプションを買い戻し、決済します。そしてさらに高い権利行使価格で満期までの日数が長いコールオプションを売り、プレミアムを受け取りつつ現物株を「買われる」リスクを遠ざけます。

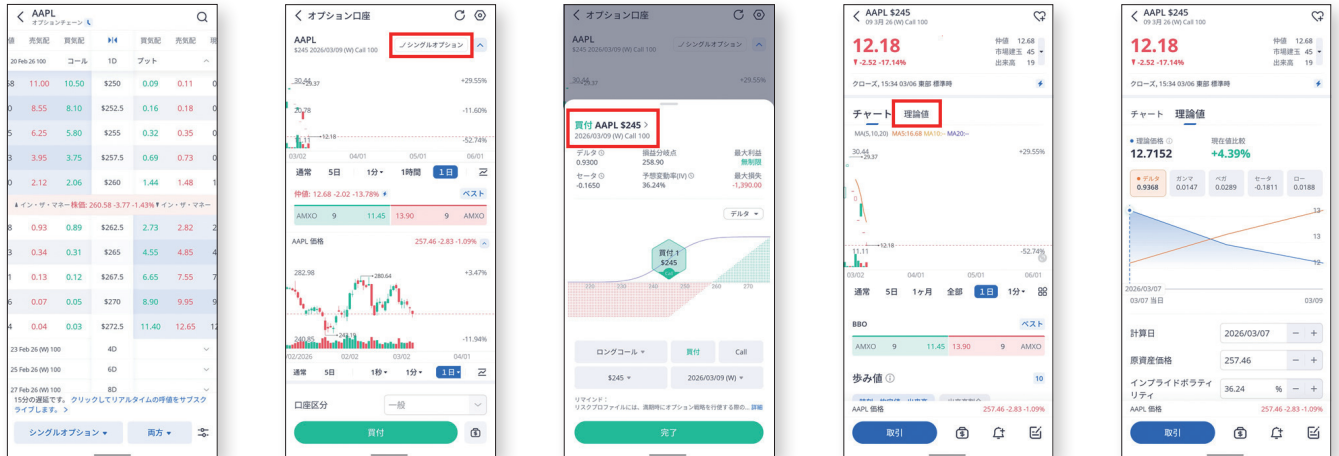
●守る考え方

コールオプションを買い戻して買い手が権利を行使して現物株を「買われる」リスクを遠ざける点では上記と同じですが、「攻め」ほどコールオプションを売る権利行使価格を高くせず、新たに売却したコールオプションのプレミアムを狙います。

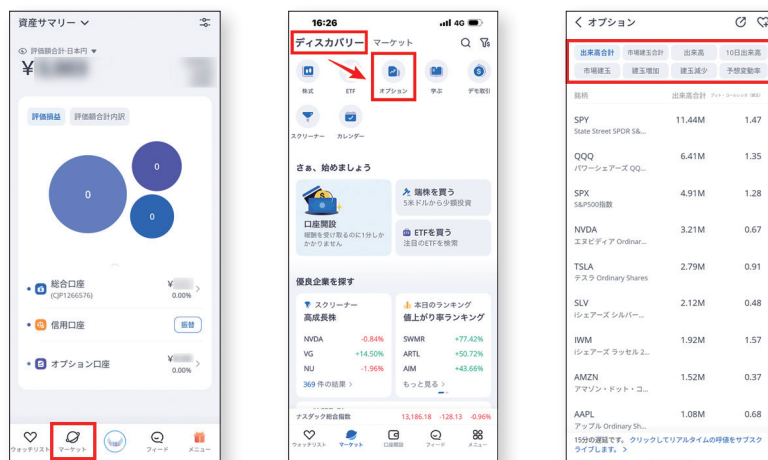
Webull アプリの便利な機能

■オプションの理論値シミュレーション

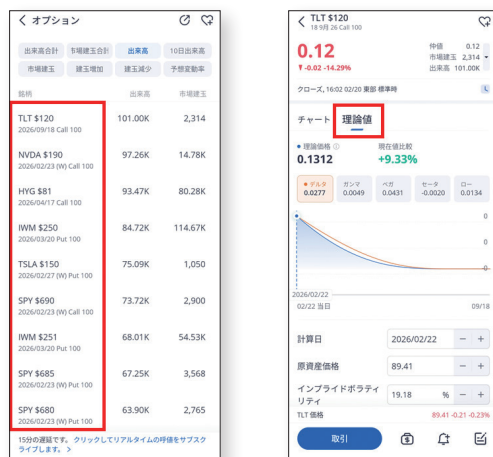
Webull アプリには、すべてのオプションについて、株価との相関や権利行使価格、残存日数、IVなどを考慮し、理論的な価格のシミュレーションができるツールが実装されています。



オプションチェーンの画面から理論値を知りたいオプションをタップし、発注画面を表示します。発注画面の右上にある「シングルオプション」をタップし、詳細画面でオプション名をタップし、次の画面で「理論値」をタップすると、対象となるオプションの理論値を確認できます。



また、アプリ最下部のメニューから「マーケット」をタップし、次の画面で「ディスカバリー」→「オプション」とタップすると、8つの基準別に注目のオプションがランキング表示されます。



「出来高」や「10日出来高」など、オプションごとのランキング表示ができる項目から、シミュレーションをしたいオプションをタップします。

オプションの詳細画面で「理論値」をタップすると、理論的な価格が表示されます。

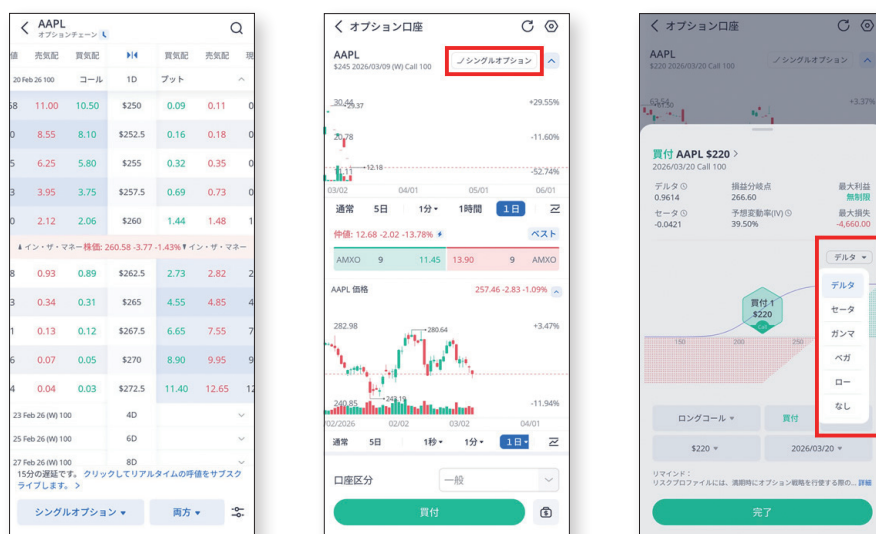
理論値と市場価格を比較することで、市場価格が割高なのか割安なのかを判断しやすくなり、投資判断に役立ちます。

損益シミュレーションでギリシャ指標をチェック

Webull アプリの損益シミュレーションでは、ギリシャ指標による分析も可能です。ギリシャ指標とは、「デルタ」や「ガンマ」といったギリシャ文字で分類される、オプション価格に関する指標です。

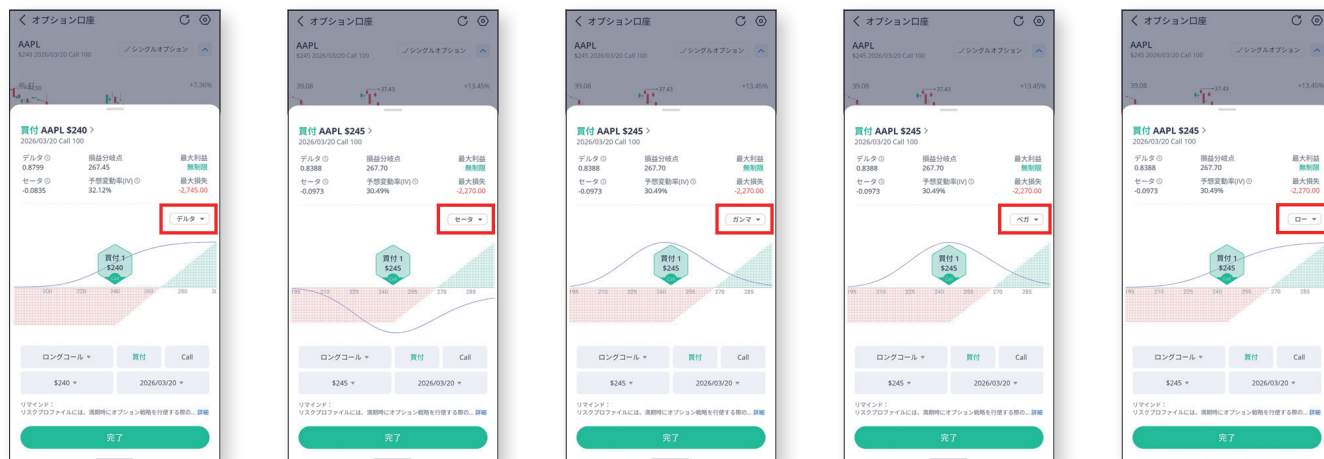
ギリシャ指標を理解すると、オプションの価格が何の要因で、どれだけの影響を受けるのかを知ることができます。それぞれのギリシャ指標が示す意味は、以下の通りです。

ギリシャ指標	指標の意味、見方
デルタ	株価など原資産価格変動がオプション価格にどれだけの影響を与えるのかを示します。
セータ	オプションの時間的価値が1日でどれだけ減少するのか（タイムディケイ）を示します。
ガンマ	上記のデルタの変化率を示します。株価などの原資産価格が変動した際に、オプションのデルタがどれだけ変動したのかが分かります。
ベガ	IVが1%変動した際に、オプション価格がどれだけ変動しているかを示します。IV（つまりボラティリティ）に対するオプション価格の感応度が分かります。
ロー	短期金利が1%変化することによってオプション価格がどれだけ変動するのかを示します。金利変動に対するオプション価格の感応度が分かります。



Webull アプリの損益シミュレーションでは、左記のギリシャ指標を切り替えてシミュレーション図に反映することができます。

損益シミュレーション画面の初期状態では「デルタ」になっている部分をタップして、ギリシャ指標を切り替えます。画像はデルタ、セータ、ガンマ、ベガ、ローの順に表示しています。



シミュレーションツールでオプションを評価してみよう

それでは実際に Webull アプリの損益シミュレーションを、オプション取引の投資判断に役立てる方法を解説したいと思います。実際のオプションについて、アプリの分析機能を用いてそこから分かることを見てみましょう。

例にしたオプションはアップル株のコールで、関連情報は以下の通りです。

権利行使価格	260 ドル
満期日（残存日数）	2026 年 3 月 20 日（27D）
現物株の株価	264.58 ドル
IV	26.23%
デルタ	0.6266
セータ	-0.1310



これらの情報をもとに分析すると、デルタが高いため株価の影響を受けやすくボラティリティが高まる可能性が高いことが分かります。セータの値も高く、株価が大きく動いた際に利益を確定しなければ時間の経過によってズルズルと価値が減少してしまうリスクがあることが分かります。

一般的に、デルタは ATM（アット・ザ・マネー）だと 0.5 に近くなり、ITM（イン・ザ・マネー）だと 0.5 より大きくなり 1 に近づきます。そして OTM（アウト・オブ・ザ・マネー）だと 0.5 を下回り、オプションのボラティリティは低くなります。

セータの絶対値は 0.5 以下だと低い（タイムディケイが小さい）一方で、1 前後は中立、2 を超えると高い、そして 3 を超えると非常に高いというのを目安にすることができます。

※セータはマイナスで表示されますが、分かりやすさのために絶対値にして取り上げました。

■ボラティリティ分析の考え方

オプション価格に影響を及ぼすボラティリティ

ボラティリティとは相場の価格変動率のことですが、オプション取引ではこのボラティリティが価格に影響を及ぼすため、重要な指標の1つです。なぜなら、ボラティリティが高いとコール、プットともに買い手が権利行使できる可能性が高いと市場が判断し、オプション価格が高くなる傾向があるからです。

その中でもオプション価格の割安感、割高感を見極めるのに用いられるのが、IV（インプライド・ボラティリティ）とHV（ヒストリカル・ボラティリティ）です。

IV（インプライド・ボラティリティ）の見方

IV（インプライド・ボラティリティ）は、将来のボラティリティがどうなるかを見込む数値です。日本語では「予想変動率」とも呼ばれ、Webull アプリでも「予想変動率」と表記されます。

オプションタイプ	IV	IV	IV
25 Feb 26 (99) 100	30.79%	8	\$400
14	29.65%	3	\$402.5
12	28.62%	6	\$405
10	27.67%	6	\$407.5
8	26.79%	1,1	\$410
6	25.79%	1,1	\$412.5
4	25.34%	1,1	\$415
2	24.84%	1,1	\$417.5
0	24.51%	1,1	\$420
27 Feb 26 (99) 100	24.35%	7	\$422.5

IV の数値が低い時にはオプション価格は割安となり、逆に IV の数値が高い時にはオプション価格は割高となります。

原資産との相関性（デルタ値）を考慮しないのであれば、IV が低ければ買い検討、IV が高ければ売り検討というのが基本線です。とはいえ、IV だけを見てオプション価格の割高、割安を判断することはできません。その理由は、IV には絶対的な基準がなく、銘柄によって標準的な水準が異なるからです。

それぞれの銘柄によって標準的な水準が異なることを前提に、それぞれの銘柄ごとに IV がどう推移してきたのか、これまでの推移と比較して現在の IV がどうなのかを判断するのが妥当です。

HV（ヒストリカル・ボラティリティ）の見方

HV（ヒストリカル・ボラティリティ）は、上記の IV と違って過去の変動率です。過去の一定期間において株価など原資産価格がどれだけ変動したかを示します。

HV が高ければ対象期間の価格変動が激しかったことを示し、低ければ価格変動が安定的であったことを示します。

IVとHVの関係性をオプション取引に役立てる方法

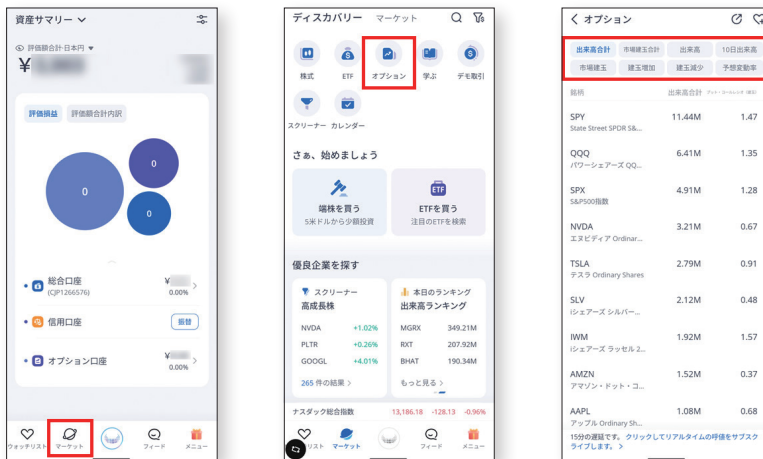
HV は過去の実績によって求められる変動率で、IV は将来の予想変動率です。将来の予測変動率である IV にはリバーシオン（平均回帰性）があるとされています。そのため、高すぎる数値になると低下しやすくなり、逆に低すぎる数値になると上昇しやすくなり、最終的に平均的な水準に収敛していく傾向があります。

この性質を前提とすると、IV が HV よりも低い場合はオプションの買いを検討しやすくなり、逆に IV が HV よりも高い場合はオプションの売りを検討しやすくなります。

■オプションのランキング機能を活用する

Webull アプリには、さまざまな基準でオプションをランキング表示する機能があります。出来高や市場建玉合計、建玉増加や建玉減少など、8つの基準でランキング表示できるため、市場トレンドの把握や投資機会の拡大に役立ちます。

また、出来高情報からは「取引が活発なオプション」が可視化されるため、市場の関心が集まっている銘柄や傾向を読み取りやすくなります。



Webull アプリの最下部にあるメニューから「マーケット」をタップし、上部メニューの「オプション」をタップします。ランキング表示画面になったら、上部の各基準をタップするとそれぞれの基準によるランキング表示に切り替わります。

アプリで表示できる各基準からは、以下のことが分かります。

切替項目	ランキングから分かること
出来高合計	銘柄別のオプション出来高合計を示し、取引量が多い原資産が上位表示されます。市場参加者がどの銘柄に関心を持っているか、実際に取引をしているかの人気度が分かります。
市場建玉合計	銘柄別の未決済建玉合計を示し、市場参加者がエネルギーを注いで取引している銘柄が原資産別にランキング表示されるため、市場が注目している銘柄が分かります。
出来高	取引量が多いオプションが上位表示され、流動性の高さが示されます。流動性の高さからは、約定しやすさが分かります。
10 日出来高	直近 10 日間で出来高の多いオプションが上位表示され、現在の市場参加者がどのオプションを活発に取引しているのが分かります。
市場建玉	未決済ポジションが多いオプションが上位表示され、対象銘柄に対する市場参加者のエネルギーや本気度が分かります。
建玉増加	建玉が増加しているオプションが上位表示され、対象となる銘柄が上昇トレンドであることが示唆されます。
建玉減少	建玉が減少しているオプションが上位表示され、対象となる銘柄が下落トレンドであることが示唆されます。
予想変動率	将来の価格変動幅が大きいと予想されるオプションが上位表示され、利益を狙えるチャンスが多いと判断できることがあります。

■異常なアクティビティをチェック

大口投資家の動向が、相場全体に多大な影響を及ぼすことがあります。大口投資家の投資行動によってオプションの出来高が急増するケースはたびたび見られ、トレンド形成を察知するヒントになります。

特定のオプションで以下のような現象が見られた場合、「異常なアクティビティ」として認識され、早期に察知することができます。

- 出来高が急増してランキングの上位に表示されている
- オプション価格が急騰もしくは急落している
- 特定の満期日や権利行使価格に注文が集中している

こうした動きの背景には、機関投資家や大口投資家による投資行動が関係していることがあります。何らかの思惑がある可能性が高く、こうした異常なアクティビティを察知することで市場に先回りをしてポジションを構築することができます。

Webull アプリのオプションランキング表示機能には、10 日出来高の項目があります。ランキング上位には S&P500 やナスダック 100 指数などインデックス系のオプションが表示されることもありますが、ここに個別銘柄のオプションが上位表示されている場合は注目してみると投資機会が広がるかもしれません。

順位	出来高	10日出来高
COIN \$370 2026/05/15 Put 100	5.43M	28.76K
COIN \$340 2026/03/20 Put 100	4.62M	29.00K
PLTR \$320 2026/06/18 Put 100	4.58M	24.80K
INTU \$700 2026/03/20 Put 100	4.12M	13.31K
PLTR \$290 2026/03/20 Put 100	4.06M	26.28K
B \$20 2026/03/20 Call 100	3.86M	128.55K
MSFT \$490 2026/03/20 Put 100	3.65M	41.20K
B \$17 2026/06/18 Call 100	3.61M	108.10K
MSFT \$500 2026/03/20 Put 100	3.50M	35.47K
MSFT \$475 2026/03/20 Put 100	3.01M	41.23K

この場合は「COIN (Coinbase)」のプットオプションが上位表示されています。Coinbase は暗号資産取引所の大手です。その銘柄のプットオプションが出来高ランキング上位にあるということは、同銘柄に対して多くの投資家が株価の下落を予測している、もしくは下落に備えていることが窺えます。

アプリの「マーケット」画面でも、個別銘柄のオプションについて出来高ランキングのダイジェストを確認できます。

順位	出来高	10日出来高
TLT \$120 2026/06/18 Call	101.00K	97.26K
NVDA \$190 2026/03/20 Call	97.26K	97.26K
WHS \$81 2026/06/17 Call	93.47K	93.47K

「マーケット」画面上部の「ディスカバリー」タブをタップし、下にスクロールをすると「オプション取引」の項目に個別銘柄の出来高ランキングが表示されています。

■決算発表日をチェック

決算の発表は、株価に多大な影響を及ぼします。ボラティリティが高まる可能性が高く、オプション取引の投資機会にもなります。各企業の決算発表日をしっかりチェックすることでオプション取引に役立てましょう。



ウィブル証券アプリの最下部メニューで「メニュー」をタップし、「ショートカット」にある「すべて表示」をタップします。そして次に、「すべての機能」画面にある「決算カレンダー」をタップします。カレンダーの画面で「収益」をタップすると、その下のタブで選択した対象期間の決算発表日がリスト表示されます。



また、カレンダー画面上部のカレンダーアイコンをタップすると、カレンダーから決算発表日をチェックすることができます。

■オプション約定分析で市場の動きを読み解く

Webull アプリでは、銘柄ごとにオプションの約定分析が可能です。出来高や市場建玉、コールとプットの比率を見ることにより、需給の状況や市場参加者の心理などを理解しやすくなります。



個別銘柄の詳細画面下部にある「オプション」をタップすると、オプションチェーンの画面に遷移します。この画面で「オプション統計」をタップすると、対象銘柄のオプション状況が表示されます。

出来高分析ではコールとプットの比率がグラフで表示されており、どちらに傾斜しているかを直感的に把握できます。また、その下にスクロールすると、権利行使価格別のコールとプットの比率が表示され、より詳細なポジションの状況が分かります。さらに、出来高の順にランキング表示されるため、どの権利行使価格に資金が集まっているかも把握できます。

プットコールレシオとは

オプション約定分析で確認できるコールとプットの比率のことを、プットコールレシオといいます。プットオプションの取引量をコールオプションの取引量で割って求められ、市場心理が「強気」なのか「弱気」なのかを知る指標となります。

ある時点でのプットコールレシオをチェックするだけでなく、プットコールレシオの推移をチェックすると急激な変動を確認できることがあります。プットコールレシオが急に上昇している場合は市場心理が急激に不安になっている、逆に急に下落した場合は市場心理が急激に強気になっているサインとも読み取れます。

赤い囲みを入れた部分はプットとコールの比率を示しているため、プットコールレシオを視覚的に確認することができます。



オプション出来高の見方

出来高は、オプションが取引された量を示します。出来高が多いことで、主に以下のことを読み取れます。

- 投資家からの注目度が高い
- 流動性が高いため希望する価格で売買しやすい
- 市場参加者がどの権利行使価格を意識しているか

Webull アプリではオプションを出来高でランキング表示できるので、注目度が高い銘柄、オプションを効率良くチェックできます。

オプション			
出来高合計	市場建玉合計	出来高	10日出来高
市場建玉	建玉増加	建玉減少	予想変動率
銘柄	出来高		市場建玉
TLT \$120 2026/09/18 Call 100	101.00K	2,314	
NVDA \$190 2026/02/23 (W) Call 100	97.26K	14,78K	
HYG \$81 2026/04/17 Call 100	93.47K	80,28K	
IWM \$250 2026/03/20 Put 100	84.72K	114,67K	
TSLA \$150 2026/02/27 (W) Put 100	75.09K	1,050	
SPY \$690 2026/02/23 (W) Call 100	73.72K	2,900	
IWM \$251 2026/03/20 Put 100	68.01K	54,53K	
SPY \$685 2026/02/23 (W) Put 100	67.25K	3,568	
SPY \$680 2026/02/23 (W) Put 100	63.90K	2,765	
SPY \$688	63.09K	1,560	

オプション市場建玉とは

市場建玉は、未決済オプションの総数です。出来高はその日の取引総数であるのに対して市場建玉は未決済で市場に残っているオプションです。未決済のオプションには投資家の意図が反映されているため、市場の中長期的な傾向を読み取ることができます。

これに対して、出来高はその日の取引量を示すため、短期的な相場の勢いやエネルギーが読み取れます。

プットコールレシオとオプション出来高を組み合わせる市場を分析する

プットコールレシオ（PCR）とオプション出来高を組み合わせると、より精度の高い4通りの市場心理を読み解くことができます。

プットコールレシオ(高) 出来高(減)

PCRが高いため市場は悲観ムードであるが、その一方で出来高が減少しているためこれ以上の悲観の広がりには限定的。悲観のピークアウトが示唆される。

プットコールレシオ(高) 出来高(増)

PCRが高いため市場は悲観ムード。しかも出来高が急増しているということは大量のプット取引が出されており、市場は過度に悲観ムードになっているか、売られ過ぎが示唆される。

プットコールレシオ(低) 出来高(減)

PCRが低いため市場は楽観ムードだが、出来高が減少しているということは強気の勢いが鈍り始めている。トレンドの天井が示唆される。

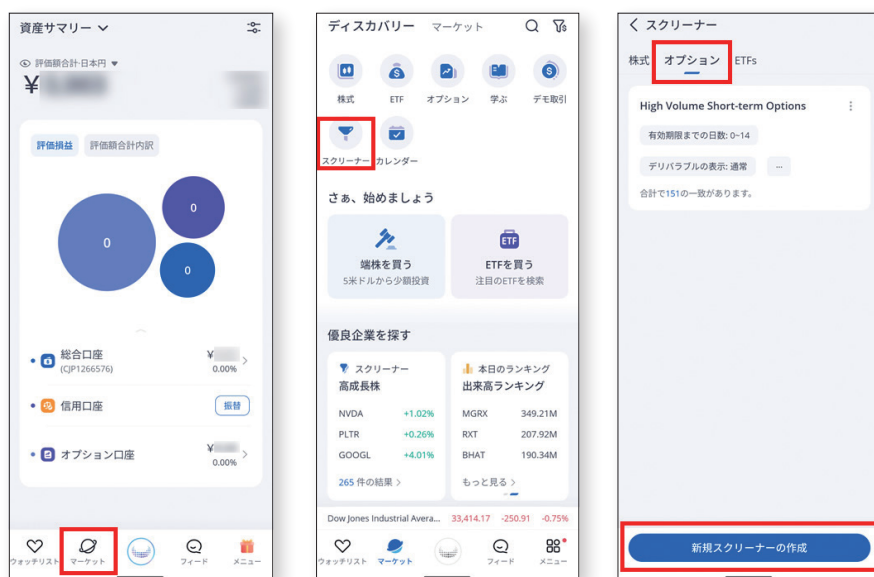
プットコールレシオ(低) 出来高(増)

PCRが低いため市場は楽観ムード。しかも出来高が急増していることから短期勢も大量のコール取引をしている可能性が高く、市場が過熱気味と判断されやすい。強気のピークとして警戒ラインと意識されることもある。

■オプションの絞り込みに役立つスクリーナー

無数にあるオプションから、希望するオプションを選びたい時に役立つのが、オプションスクリーナーです。「残存日数が14～30日、出来高が1,000枚以上、IVが50%以上のコールオプション」といったように、希望する条件を設定すると該当するオプションを絞り込むことができます。

ウィブル証券アプリの最下部メニューで「マーケット」をタップし、「スクリーナー」を選択します。次に、スクリーナー画面で「オプション」をタップすると、初期状態ではサンプルとして1つスクリーナーが設定されていますが、自分で条件を設定したい場合は、下部にある「新規スクリーナーの作成」をタップします。



なお、ウィブル証券アプリでオプションスクリーナーを利用するには、リアルタイム権限を購読する必要があります。

通常のオプション価格情報は15分ディレイとなっていますが、リアルタイム権限を購読するとディレイのない情報が配信されます。リアルタイムのオプション価格情報は通常月額780円ですが、口座開設後30日間無料で利用可能です。また、無料期間が終了した後であってもオプション取引が一度でもあれば30日間無料で利用が可能となります。

先ほど挙げた「残存日数が14～30日、出来高が1,000枚以上、IVが50%以上のコールオプション」という条件を設定すると、このようになります。

設定を完了したら「保存」をタップし、スクリーナーの名称を設定して保存完了です。



先ほど作成した「サンプル」というスクリーナーが表示されるので、ここをタップします。

「サンプル」のスクリーニング条件に合致するオプションが一覧表示されます。

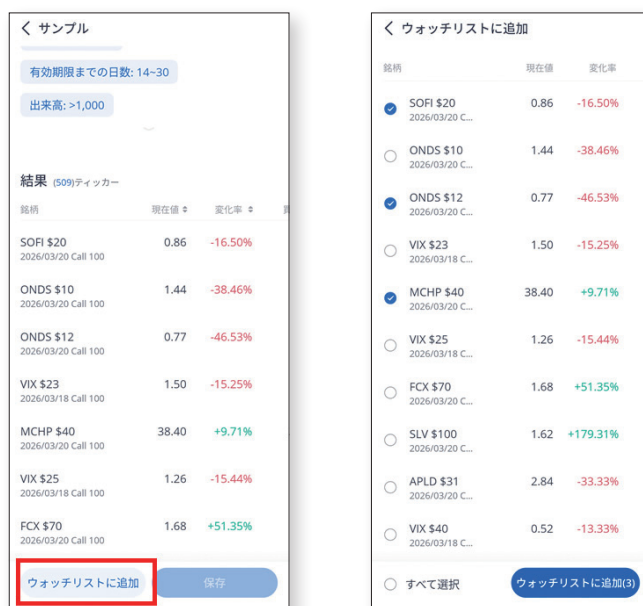
オプションが一覧表示されている部分をスワイプして項目名をタップすると、以下の項目別に並べ替えができます。

●現在値 ●変化率 ●買気配 ●売気配 ●出来高 ●市場建玉 ●IV ●残存日数



気になるオプションは、ウォッチリストに追加できます。

スクリーナフィルタの結果表示画面下部にある「ウォッチリストに追加」をタップし、次の画面でウォッチリストに追加したい銘柄にチェックを入れて「ウォッチリストに追加」をタップします。



【コール】

将来の特定の期日までに、権利行使価格で株式などの原資産を購入できる権利のこと。

コールオプションを買った状態で原資産価格が上昇して権利行使価格を上回ると、利益になります。逆に原資産価格が権利行使価格を下回ると権利を放棄しますが、損失はオプション価格に限定されます。

【プット】

将来の特定の期日までに、権利行使価格で株式などの原資産を売却できる権利のこと。

プットオプションを買った状態で原資産価格が下落して権利行使価格を下回ると、利益になります。逆に原資産価格が権利行使価格を上回ると権利を放棄しますが、損失はオプション価格に限定されます。

【シングルオプションのコール、プットの 4 大戦略】

コール、プットにはそれぞれ「買い」と「売り」のトレードがあります。

それぞれの組み合わせによる利益と損失の関係は以下の通りです。

戦略	取引の内容	利益	損失
コール買い	将来に権利行使価格で買う権利を取得	原資産価格の上昇により無制限	オプション価格に限定
コール売り	将来に権利行使価格で買う権利を提供	オプション価格（プレミアム）	原資産価格の上昇により無制限（※）
プット買い	将来に権利行使価格で売る権利を取得	権利行使価格から原資産価格とオプション価格を差し引いた金額	オプション価格に限定
プット売り	将来に権利行使価格で売る権利を提供	オプション価格（プレミアム）	原資産価格がゼロになるまでの範囲

※原資産を保有しない状態でのコール売り（ネイキッドショート）はきわめてリスクの高い戦略のため、ウィブル証券では対応しておりません。

【買い(ロング)】

オプションを買う取引のこと。将来、権利行使価格で買う、もしくは売る権利を取得し、原資産価格の変動による利益を狙います。最大の損失はオプション価格までに限定されるため、リスクを抑えながら利益を狙うことができます。

コールの買いは原資産価格が上昇すれば利益、プットの買いは原資産価格が下落すれば利益となります。

【売り(ショート)】

オプションを売る取引のこと。オプション売りのポジションを持つことで買い手からオプション価格分の利益が得られますが、その一方で権利行使価格での売買に応じる義務を負います。相場が思惑と逆の方向に進んだ場合、損失が無制限に拡大する恐れがあるため、買いと比べると入念なリスク管理が求められます。

そのため、ウィブル証券ではコール売りの場合は対象の現物株、プット売りの場合は現物株を購入する必要資金をオプション口座に用意してオプションの売りを行います。

【ITM(イン・ザ・マネー)】

今すぐオプションの権利を行使すると利益が出る状態のこと。コールオプションでは原資産価格が権利行使価格を上回っていれば ITM、プットオプションでは原資産価格が権利行使価格を下回っていれば ITM です。

ITM になっているオプションには本質的価値があると見なされ、そこに残存日数に応じた時間的価値もあると考えられるため、オプション価格は高くなります。

行	売気配	買気配	1D	売気配	買気配	現
23 Feb 26 (W) 100	コール	1D	プット			
5	12.85	11.40	\$252.5	0.05	0.07	0
8	10.20	9.10	\$255	0.10	0.13	0
9	7.70	6.90	\$257.5	0.22	0.24	0
8	5.35	4.85	\$260	0.46	0.49	0
2	3.25	3.10	\$262.5	0.96	1.00	1
株価: 264.58 +4.00 (+1.54%)						
0	1.68	1.51	\$265	1.93	1.99	1
5	0.78	0.73	\$267.5	3.45	3.65	3
2	0.32	0.31	\$270	5.55	5.95	6
4	0.15	0.14	\$272.5	7.45	8.45	9
6	0.08	0.05	\$275	10.00	10.95	11
25 Feb 26 (W) 100			3D			
27 Feb 26 (W) 100			5D			
02 Mar 26 (W) 100			8D			
04 Mar 26 (W) 100			10D			

Webull アプリのオプションチェーンでは、ITM になっているオプションが分かりやすく配置されています。

中央の株価をはさんでコールは左上、プットは右下が ITM 状態のオプションです。分かりやすくなるように、赤い色を付けています（この画像だけの加工です。実際に色を付ける機能はございません）。

【OTM(アウト・オブ・ザ・マネー)】

今すぐオプションの権利を行使しても利益が出ない状態のこと。コールオプションの買いでは、権利行使価格より原資産価格が低ければ OTM、プットオプションの買いでは権利行使価格より原資産価格が高ければ OTM です。

OTM のオプションには本質的価値がないため、時間的価値のみで価格が構成されます。このままの状態が続けば買い手がオプションを保有しても満期時に損失となるため売り手にとっては権利を行使されにくく、受け取ったオプション価格がそのまま利益になる可能性が高くなります。

【ATM(アット・ザ・マネー)】

原資産価格と権利行使価格が等しく、オプション価格を考慮しない場合、権利行使をしても利益にも損失にもならない状態のこと。ITM ではないため本質的価値が低く、時間的価値が相対的に高くなります。そのため原資産価格の変動に敏感に反応します。

【権利行使】

保有しているオプションの権利を行使して、実際に原資産の取引をすること。コールオプションでは買い、プットオプションでは売りの取引が行われます。

【権利行使価格】

コールでは買い、プットでは売りの権利を実際に行使する際の価格のことです。オプションを取引する際には権利行使価格を決めてポジションを保有します。

【途中決済】

保有しているオプションを満期よりも前に決済すること。オプションを買う場合は途中決済をするのが一般的で、オプションを売る場合は満期まで持つのが一般的です。

【原資産】

オプションの価値の元になる金融資産のこと。米国株オプションであれば米国株の個別銘柄、ETF などが原資産です。

【プレミアム】

オプション価格（オプション料）のこと。本質的価値と時間的価値で構成されており、オプションの買い手はプレミアムを支払って権利を取得し、オプションの売り手はプレミアムを受け取って権利を提供します。

【時間的価値、タイムディケイ】

オプションの価値を構成する要素の 1 つで、オプションが満期になるまでに原資産価格が変動する可能性に基づく価値です。残存日数やボラティリティなどによって変動し、満期が近づくごとに少しずつ減少し、最終的には無価値になります。

【本質的価値】

ITM の状態のオプションにある価値で、オプションの権利を行使した際に得られる利益を本質的価値といいます。ITM ではないオプションについては、本質的価値がありません。

よくあるご質問と回答

Q 米国株オプションの取引をするためには米ドルが必要ですか？

はい、日本円のままでは取引ができないため、アプリ内の機能で米ドルに両替をしてからオプション口座に米ドル資金を振替える必要があります。

Q オプション取引は特定口座で取引できますか？

いいえ、オプションは特定口座での取引はできません。一般口座での取引になるため損益計算をご自身で行っていただき、確定申告を行っていただく必要があります。

Q 総合口座にある現物の米国株式をオプション口座に振替えることはできますか？

はい、可能です。ウィブル証券アプリのヘルプセンターより、次の事項を記入しメッセージを送信してください。

総合口座（一般口座）からオプション口座への口座振替を希望します。

①一般口座預り銘柄全て

または

②銘柄を指定する

銘柄（ティッカー）：

数量：



ウィブル証券アプリの最下部メニューで「メニュー」をタップし、メニュー画面で「ヘルプセンター」をタップします。ヘルプセンター画面の最下部にある「お問い合わせ」をタップし、ライブチャット画面で上記のメッセージに必要事項を記入の上、送信してください。

Q オプションの取引時間を教えてください。

日本時間の 23 時 30 分から翌 6 時、米国がサマータイムの期間は 22 時 30 分から翌 5 時です。原資産が ETF または指数のオプションについては、それぞれ取引終了が 30 分長くなります。満期日については、コール、プットの買いが大引けの 20 分前まで新規買いが可能です。保有中建玉の反対売買による決済は、大引けまで可能です。

Q ウィブル証券の米国株オプションの取扱商品を教えてください。

米国個別株オプション取引と、米国株価指数オプション取引の各銘柄です。約 4,300 銘柄の取引が可能です。

Q ITM の状態で指数オプションが満期日を迎えた場合、どうなりますか？

自動的に権利が行使されます。権利行使価格と満期時の清算価格の間で差金決済が行われ、差額分がオプション口座に入金されます。

Q 米国株オプションの価格情報が 15 分遅れになっています。 リアルタイム表示にすることはできますか？

はい、可能です。リアルタイムのオプションデータは口座開設後 30 日間は無料で利用可能です（通常は月額 780 円）。さらに、オプション取引があれば継続して無料で利用可能です。

Q オプションの売りをする場合に注意すべきことを教えてください。

売建玉を保有する場合、買い手からプレミアム（オプション価格）を受け取ることができますが、その一方で買い手による権利行使の可能性があります。OTM であれば権利が行使される可能性は低いですが、ITM の場合は買い手に有利なため権利が行使される可能性が高くなります。

満期日が近くなり、原資産価格が権利行使価格に近い場合は多くのオプションが権利行使もしくは放棄される可能性が高まり、相場の急激な変動が起きやすくなります。売建玉を持っている投資家にとっては相場の思わぬ変動によって予期しない損失が生じるリスクがあります。そのため満期日当日にウィブル証券の判断で建玉を反対売買によって強制決済することがあります。これは思わぬ変動で起こり得る損失やリスクを防ぐためのものです。

Q オプションの新規取引ができません。どんな原因が考えられますか？

オプションの新規建てができない主な原因と対処方法は以下のとおりです。

【注文時間の制限】

オプション取引の注文において、成行注文は米国通常取引時間のみご利用いただけます。

【資金不足】

オプション口座内に新規建てに必要な米ドル現金もしくは代用有価証券「外貨建てMMF(Moneybull)」をご用意ください。

- 米ドル現金の場合、総合口座画面のタブ「入出金」→「資金振替」→「振替出金」より、振替先が「米国株オプション取引口座」となっていることをご確認の上、お振り替えください。
- 代用有価証券の場合、総合口座画面のタブ「入出金」→「代用有価証券の振替」より、振替先が「米国株オプション取引口座」となっていることをご確認の上、お振り替えください。

【必要な現物株または資金の不足】（手数料等は考慮していません。）

- レグイン注文（カバードコール）の場合、オプション口座内に発注希望枚数×100株の現物株のご用意が必要です。
- カバードコール（コールオプションの売り＋現物株買いの同時注文）の場合、現物株購入分の資金が必要です。
- キャッシュ・セキュアード・プットの場合、権利行使価格×枚数×100株分の資金が必要です。
- ベア・コール・スプレッド等のストラテジー取引の場合、権利行使価格の幅×枚数×100株分の証拠金が必要です。

【同一内容の建玉を保有している】

新規建てを予定しているオプションと同一満期日、同一権利行使価格の売り建玉もしくは買い建玉を既に保有している場合（カバードコール／キャッシュ・セキュアード・プットを含む）は新規注文ができません。

Q オプション取引に信用取引口座は必要ですか？

はい、必要です。例えば、原資産を保有しない状態でコールオプションを売った場合、買い手が権利行使をすると原資産の調達と引き渡しが必要になります。オプション管理のために信用売り建てを通じて引き渡し義務に応じられるよう、信用取引口座の開設が必要になります。

米国株オプション取引なら ウィブル証券

取引コスト	1 枚あたり 0.6 ドル（税込） 1 注文あたりの最低手数料 2.18 ドル
取扱銘柄数	約 4,300 銘柄
米国株価指数 オプション	S&P500、VIX 指数、ダウ平均、ナスダック 100 指数 など多数
リアルタイム オプションデータ	無料 ※口座開設後 30 日間もしくはオプション取引があれば無料で利用可能。 無料期間終了後もオプション取引があれば無料で利用可能。 通常 ¥780 / 月（税込）でご利用いただけます。
年齢制限	18 歳以上（上限なし）
注文方法	指値、成行、逆指値（成行、指値）の各注文 トレールストップ注文 セット注文（IFD + OCO）
デモ取引	リアルタイムデータ、実際の取引環境と同じオプション チェーン、分析ツールなどを利用可能

※ 2026 年 3 月 2 日時点の情報になります。

Webull アプリのセキュリティ対策

ウィブル証券アプリでは、お客様が安全に取引が行えるように下記のようなさまざまなセキュリティ対策を採用しています。

【二要素認証】

これまでにログインをしたことがない新しいデバイスでログインを試みる場合、お客様がウィブル証券に登録している電話番号もしくはメールアドレスに送信される確認コードの入力を必要とすることで、なりすましによる不正ログインを防止します。

【ログイン通知メール】

これまでにログインをしたことがない新しいデバイスでログインがあった場合、アプリのプッシュ通知および登録しているメールアドレスへの通知をいたします。これにより、不正ログインがあった際に早期に察知できます。

【ログインパスワードと異なる取引パスワードの取扱い】

資産状況の確認や取引、入出金を行う際には、ログインとは異なる取引パスワードの入力を必要とし、安全性を向上しています。

【生体認証】

本人しか持ち得ない身体的特徴を用いて本人の特定をすることにより、セキュリティを高めることができます。スマートフォンの機種によって名称や選択肢が異なりますが、指紋認証や顔認証を利用可能です。

【出金時の多要素認証】

出金時には取引パスワードの入力に加えて登録している電話番号もしくはメールアドレスに送信される確認コードの入力を必要とすることにより、セキュリティを強化しています。

Moneybull について

Moneybull とは

Moneybull は、ウィブル証券が提供する資産運用サービスです。ウィブル証券の総合口座で保管している米ドルが外貨建て MMF で自動運用され、2025 年 4 月末時点での運用実績は 3.84%(※) です。

多くの投資家にとって、証券会社の口座に保有している米ドルは運用されているわけではなく、ほとんど金利がつかない状態で「放置」されているのが実情です。

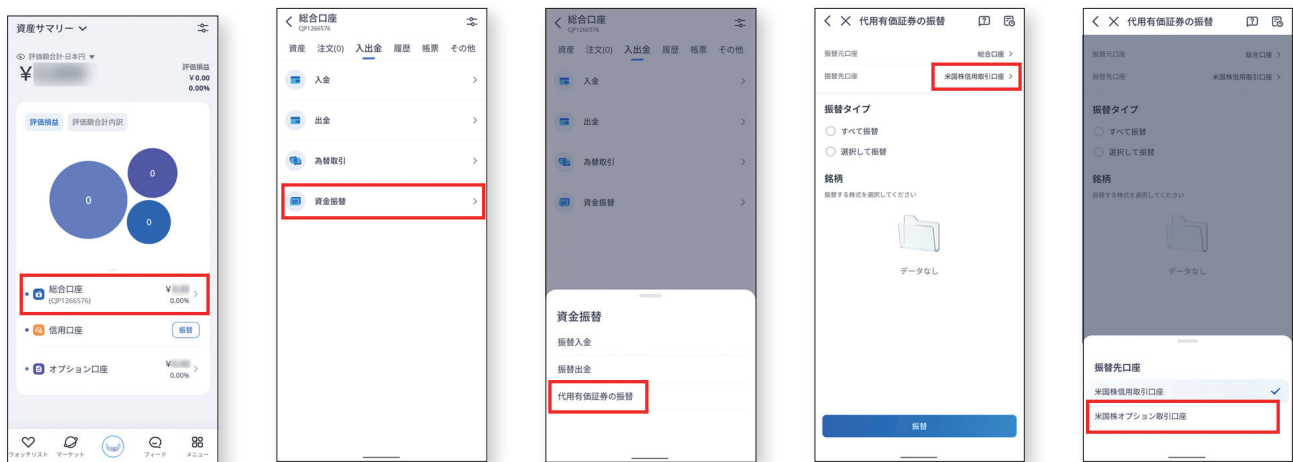
口座に「置いてあるだけ」の余剰資金に 3% を超える利回りが得られる点が大きなメリットで、この資金はいつでも米国株や米国 ETF の購入代金としても利用可能です。

※月間平均年換算利回りの実績は過去の税引前のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

Moneybull のオプション口座への振替について

Moneybull は、総合口座で保有している米ドル資金を自動運用するサービスです。外貨建て MMF で運用され、いつでも自由に米国株や米国 ETF の買い付け資金として利用可能です。

さらに口座間の振替をすることによって、Moneybull の資金をオプション取引の資金として利用することもできます。



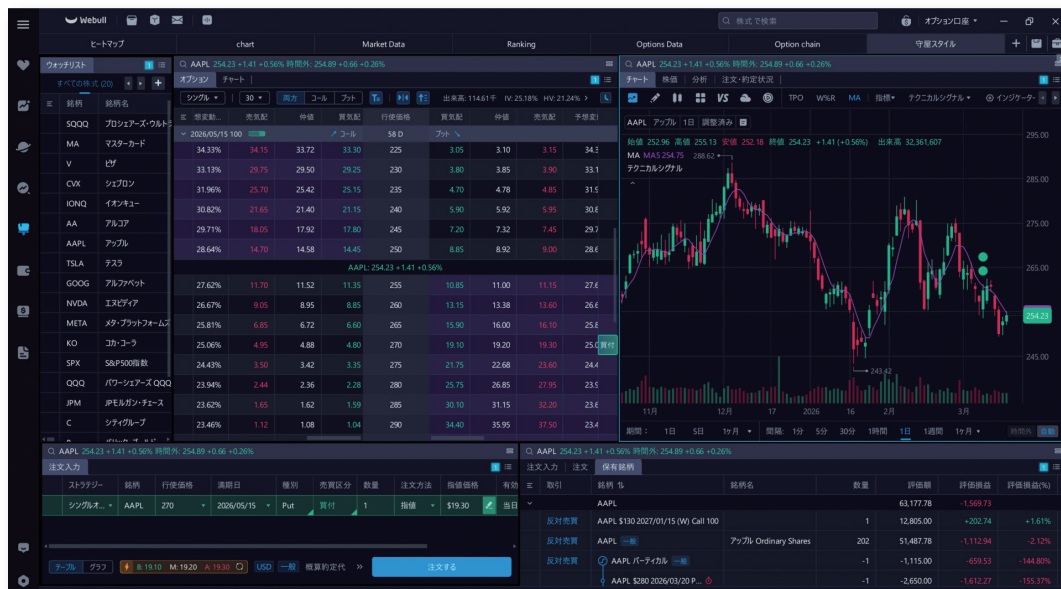
Moneybull の資金をオプション口座に振り替えるには、ウィブル証券アプリのメイン画面で「総合口座」をタップし、次に表示される総合口座の管理画面上部にある「入出金」をタップします。

次に入出金の画面で「資金振替」をタップし、表示される選択画面で「代用有価証券の振替」をタップします。振替先口座が「米国株信用取引口座」になっている場合は、ここをタップして「米国株オプション取引口座」に変更します。

最後に振替をしたい金額を入力し、最下部にある「確認」をタップして完了です。

※振替の際に入力された Moneybull の金額は、掛け目率 98% で自動計算された後の金額になります。

ウィブル証券PC版取引アプリの 3つの活用ポイント



01

リアルタイムで損益を把握しながら取引できる

PC アプリでは、オプションの損益グラフをリアルタイムで確認しながら取引できます。損益分岐点や予想変動率が一目でわかるため、相場の変動に対して迅速な判断が可能です。また、権利行使価格や満期日を変更しながらさまざまな損益シミュレーションを行えるため、エントリー前の戦略検討にも役立ちます。

02

マルチ画面で原資産とオプションを同時に分析できる

PC アプリは最大 9 画面に分割でき、原資産となる株価チャートとオプションの画面を並べて確認できます。59 種類のテクニカル指標を自由にカスタマイズして表示できるため、ボラティリティの変化や相場のトレンドを多角的に分析しながら、最適なタイミングでの取引判断をサポートします。

03

オプションチェーンからワンアクションでスピード発注できる

オプション取引では、タイミングの判断が重要です。PC アプリのスピード注文機能を使えば、オプションチェーン上で希望の価格をクリックするだけで、数量や価格の入力を省略してすばやく発注できます。分析から発注までの操作をシームレスにつなぐことで、チャンスを逃さない取引環境を実現します。

ウィブル証券クライアントサービス

口座開設やご登録内容の変更など各種手続き、
各種お取引やサービス、アプリ操作方法などについてご案内いたします。



お電話でのお問い合わせ

(電話番号)

0120-560-736

受付時間 / 平日9:00～18:00



メールでのお問い合わせ

(Eメール)

clientservices@webull.co.jp

24時間365日受付

■ディスクレマー

本書に含まれる内容はお取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、金融商品取引を行うに際しての投資助言、推奨、または勧誘を構成するものではありません。また、本書の情報については万全を期しておりますが、その情報の正確性、完全性について保証するものではありません。万一本書で提供される情報に基づき被った被害について当社は一切責任を負わないものとします。

すべての投資商品にはリスクが含まれています。投資商品の価値およびそこからの収益は上昇または下落することがあり、その投資資金の一部または全部を失う可能性があります。また、信用取引・オプション取引・先物取引の利用においては、委託保証金・証拠金の差し入れが必要となり、価格変動等によっては差し入れた委託保証金・証拠金以上の損失が生ずる恐れがあります。

本書は、一般的な情報提供を目的としており、個々のお客様のニーズ、投資目的および特定の財務状況を考慮していません。

本書で示される見解は作成時点での市場データおよび予測をもとに構成されておりますため、今後の経済動向や市場環境の変化、さらに金融取引手法の多様化に伴う変化などに対応し、予告なく変更される場合があります。

本書に関するすべての著作権は、当社に帰属します。当社の事前の承諾のない本書の内容の全部または一部の使用（引用、複製、転載、転記等）を禁じます。

また、各取扱商品等は価格の変動等によって損失が生じる恐れがあります。お取引にあたっては、取引約款および契約締結前交付書面等の書面をあらかじめお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、手数料およびリスクの存在等を十分にご理解のうえ、ご自身の判断と責任にてお取引くださいますようお願い申し上げます。

当社の各取扱商品等をお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。手数料等については、以下のページでご確認ください。

<https://www.webull.co.jp/pricing>



商号：ウィブル証券株式会社
金融商品取引業者登録番号：関東財務局長(金商)第48号
加入協会：日本証券業協会